

宮代町商工業者実態調査報告書

【調査票集計速報版】

- 調査票配布期間：平成26年2月
- 調査票回収締切：平成26年3月31日
- 調査対象：宮代町内の全商工業者
- 調査票配布数：1,024事業所
- 調査票回収数：524事業所
- 回収率：51.2%

<報告書の見方>

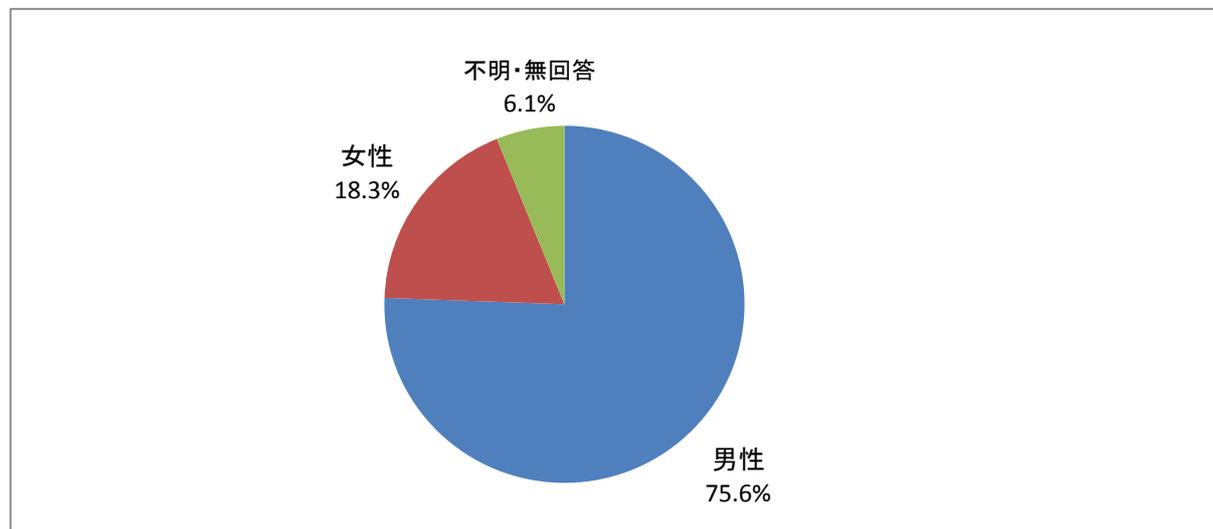
- 「N」とは、各設問の回答事業所総数で構成比率算出の母数です。
- 単数回答(回答を1つだけ選ぶ形式)の設問で2つ以上選択しているものも回答数に加えているため、回答数の合計が回答事業所総数「N」を上回る場合があります。
- 「%」は小数点第2位で四捨五入を行っているため、単数回答の合計が100%にならない場合があります。
- 「無回答・不明」とは、設問に対して回答していない、または回答の判別が困難なものです。

回答事業所の基本情報

回答いただいた事業所の「性別・年齢・事業所所在地」のまとめです。

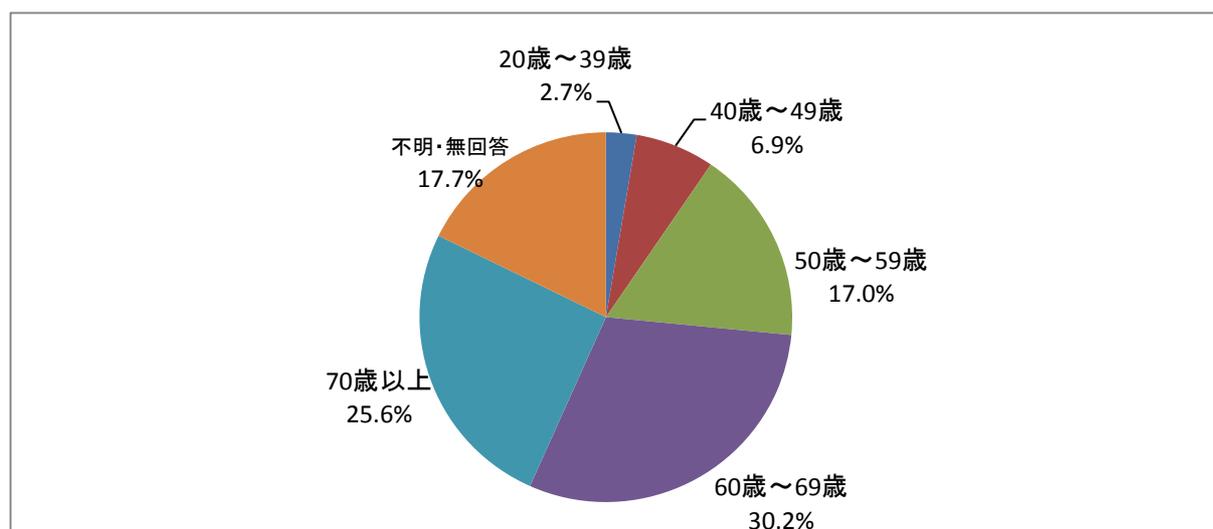
1 代表者性別 (N=524)

宮代町における商工業者の四分の3の経営者は男性です。



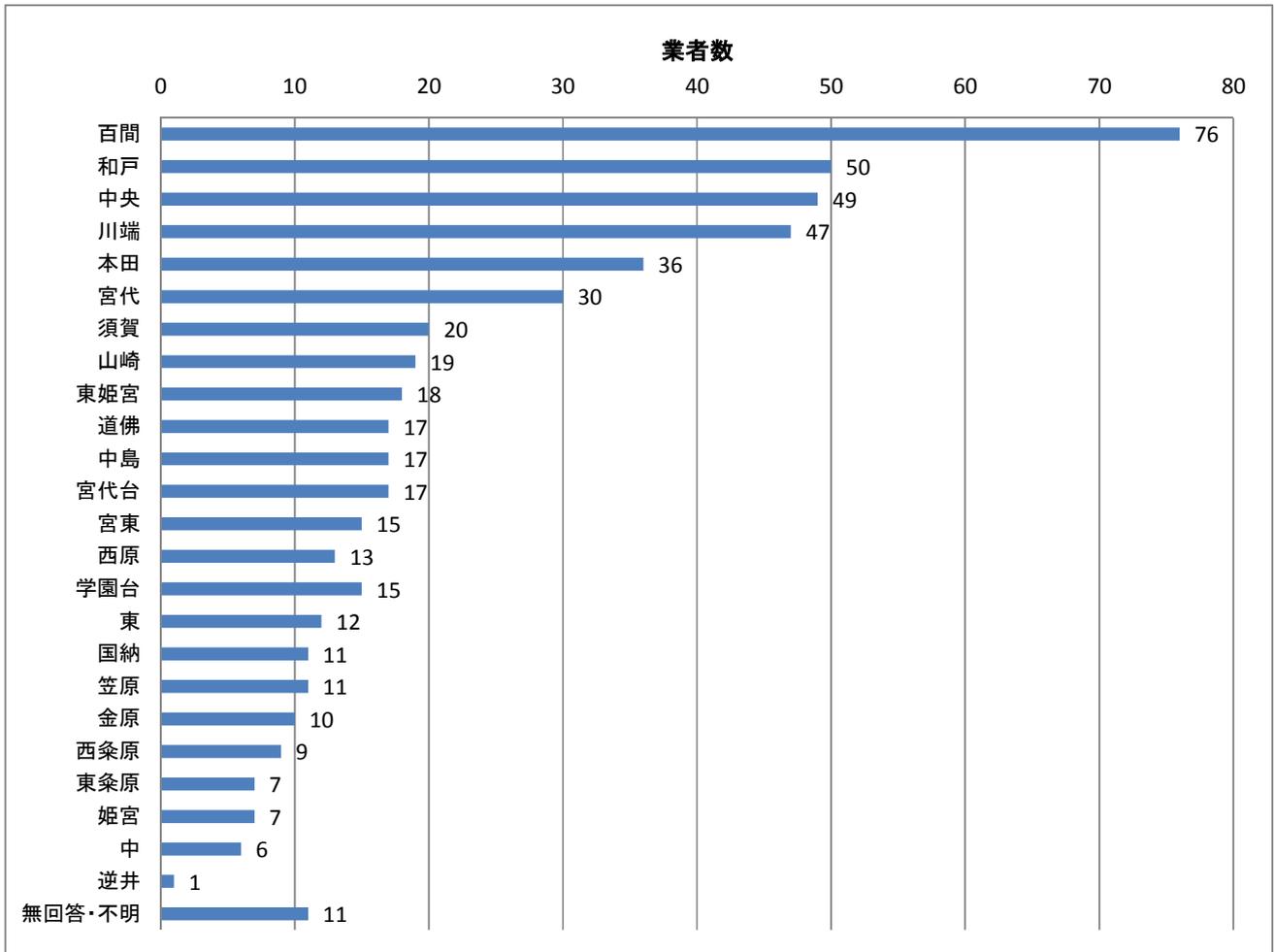
2 代表者年齢 (N=524)

60歳以上の経営者が半数以上の55.8%(292名)を占めています。49歳以下は10%にすらならず50名でした。経営者が60歳以上の事業者が、10年後にどこまで後継者を得て事業を継続していけるかと、若い起業家を増加させていけるかが課題となるでしょう。



3 事業所の所在地別分布 (N=524)

上位5地区には、「小売業・飲食業・その他サービス業」が他の地区より集中する傾向が見られました。

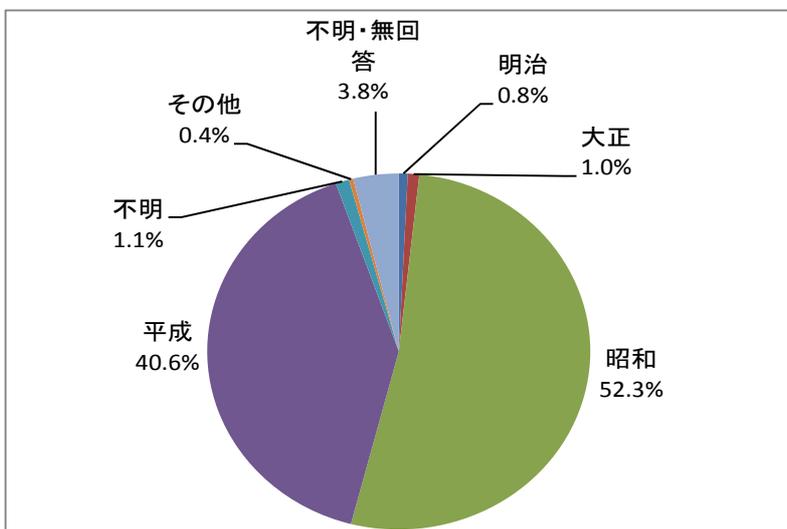


ここから調査票設問の集計です

ご回答いただいた事業所及び回答者について

問1 事業所開設時期 (N=524)

昭和創業が最多の 52.3% (274 件) でした。「昭和」の年代別事業者増加の傾向を表でまとめました。「平成」は 25 年間で 40.6% (213 件) で伸び率が高い年代と言えます。「その他」は 2 件で、内 1 件は慶応元年の創業です。

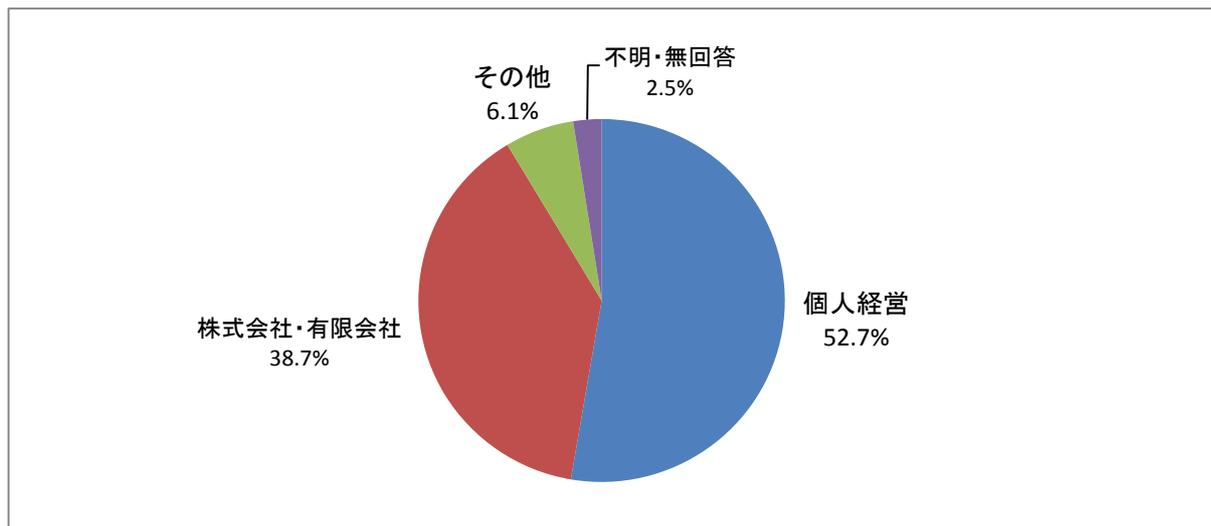


昭和創業年代別内訳 (N=274)

元年～20年	戦前	9
21年～29年	戦後復興期	13
30年～48年	高度経済成長期	111
49年～64年	オイルショック以降	121
年代不明		20

問2 経営組織 (N=524)

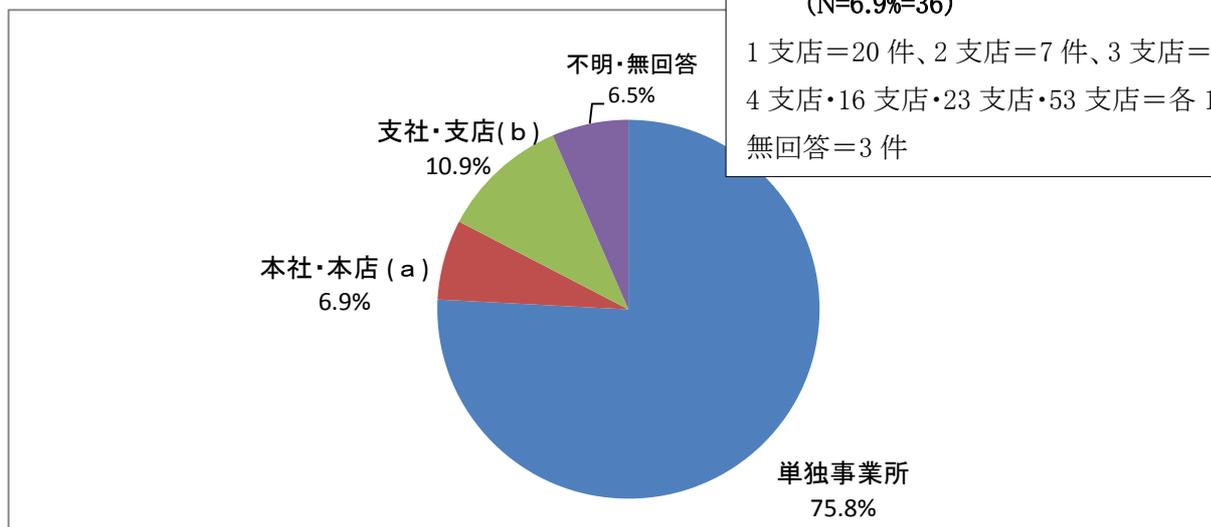
「その他」6.1%は 32 件になりますが、医療法人・社会福祉法人・金庫・公社・NPO 等です。



問3 単独事業所、本社、本店、支社・支店の別 (N=525)

(a)回答事業所が本社・本店の場合の支店数 (N=6.9%=36)

1支店=20件、2支店=7件、3支店=2件
4支店・16支店・23支店・53支店=各1件
無回答=3件



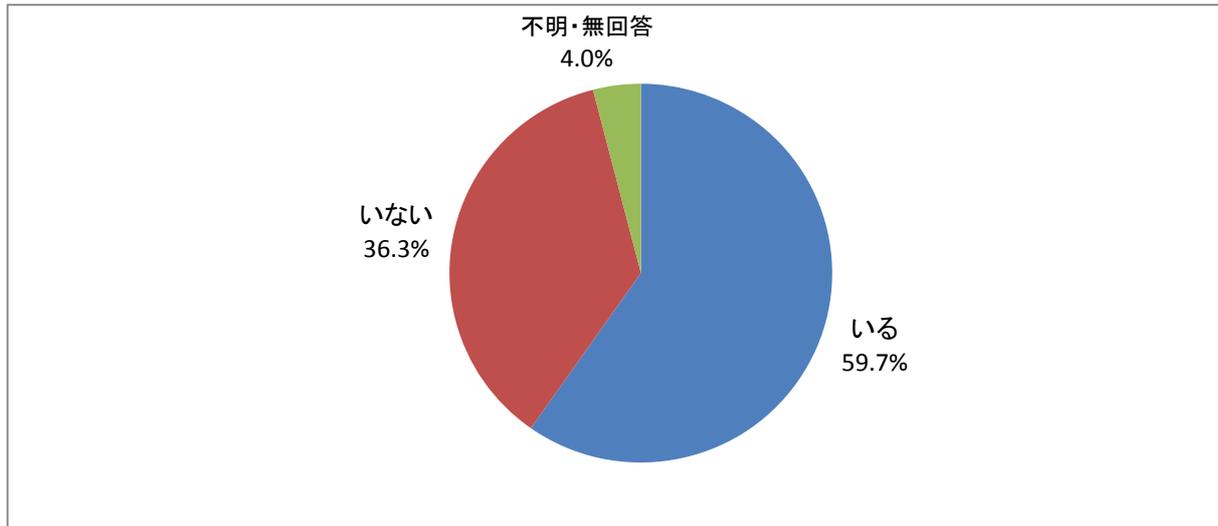
(b)回答事業所が支店・支社の場合の本社・支店所在地 (N=10.9%=57)

都道府県	件数	市区町村	件数	都道府県	件数	市区町村	件数	都道府県	件数	市区町村	件数
茨城県	1	つくば市	1	東京都	17	足立区	1	埼玉県	27	宮代町	4
栃木県	2	日光市	1			荒川区	1			杉戸町	3
		小山市	1			北区	1			春日部市	5
静岡県	2	沼津市	1			江東区	1			久喜市	5
		袋井市	1			新宿区	1			さいたま市	1
千葉県	2	柏市	1			墨田区	2			幸手市	1
		浦安市	1			世田谷	1			白岡市	1
大阪府	3	大阪市	2			台東区	1			上尾市	1
		吹田市	1			千代田区	1			熊谷市	1
無回答	3	無回答	3			練馬区	1			加須市	1
小計	13		13			港区	1			川口市	1
						目黒区	1			蓮田市	1
						府中市	1			羽生市	1
※の宮代町は、調査票記入のまま表記しました。						※宮代町	1			行田市	1
						不明	2	小計	27		27
				小計	17		17	合計	57		57

問4 宮代町商工会に加入していますか。(N=524)

「加入していない」と「不明・無回答」を足すと、4割が加入していません。

「いる」「いない」の各々に更に設問があります。



問5 商工会に加入されたきっかけは何ですか。(N=325)

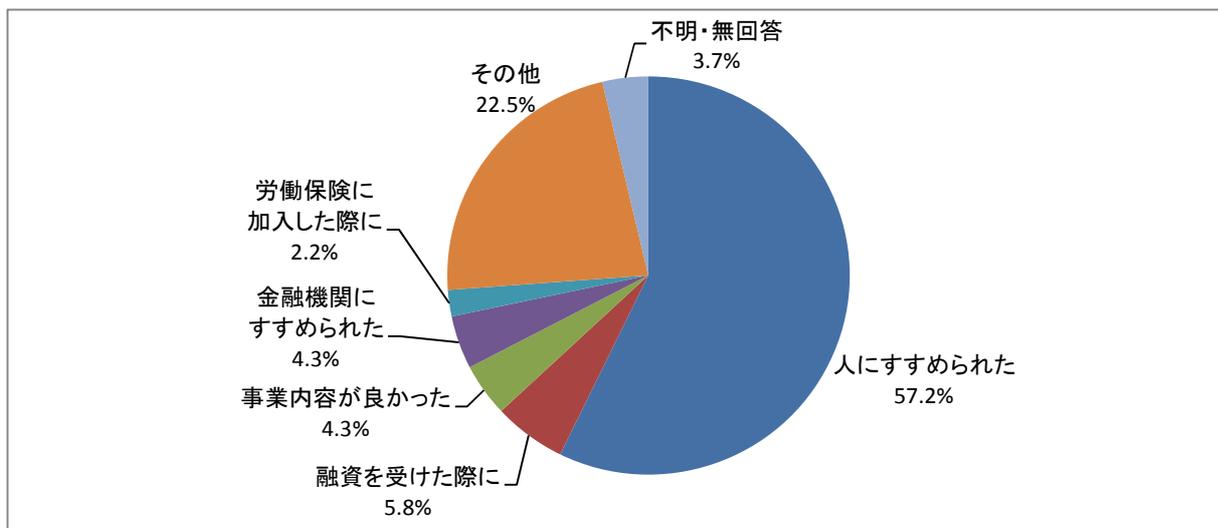
問4の「加入している」に回答した 59.7% (313 件)の方への設問です。「その他」が四分の1 近くあります。

このうちの最多は「先代が加入していたから」で 13 件ありました。

次に「財務・税金・開業に関する相談のため」

「自主的に交流や仕事のメリットを求めて」

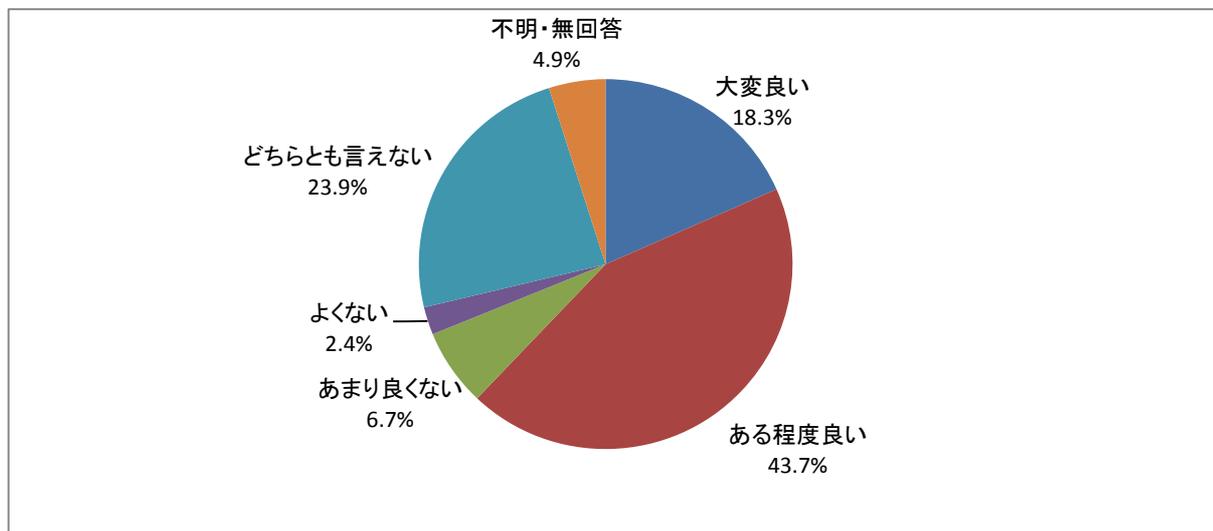
「特に理由はなく、入会するものと思っていた」という回答が続きます。



問6 商工会のイメージはいかがですか。(N=326)

問4の「加入している」と回答した 59.7%(313 件)の方への設問です。

「大変良い」と「ある程度良い」を合わせると 62%で、「よくないと」と「あまり良くない」の合計は 9%でした。「どちらとも言えない」が四分の1近く存在しています。

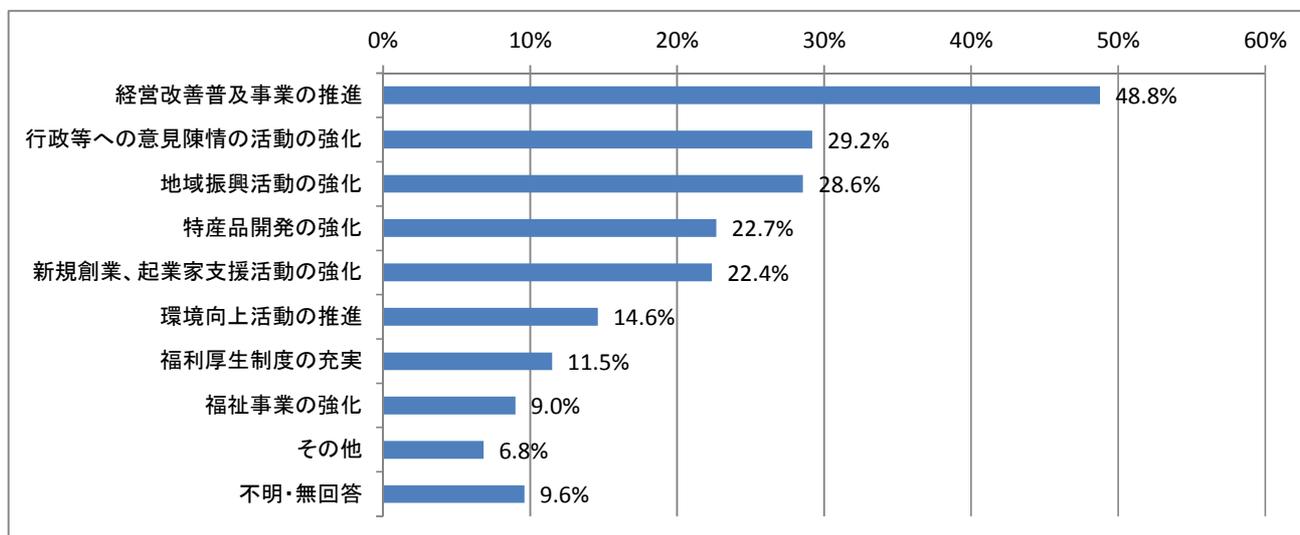


問7 商工会が今後強化すべき事業は何ですか。(N=322)【複数回答】

問4の「加入している」と回答した 59.7%(313 件)の方への設問です。

回答事業者の半数近くが「経営改善普及事業の推進」に期待をしています。「地域振興」と「特産品開発」を合わせると重複回答者もありますが、約半数が地域活性化強化を望んでいます。

「その他」6.8%(22 件)の内訳を見ると、人口増加施策や経営者教育などが挙がっています。



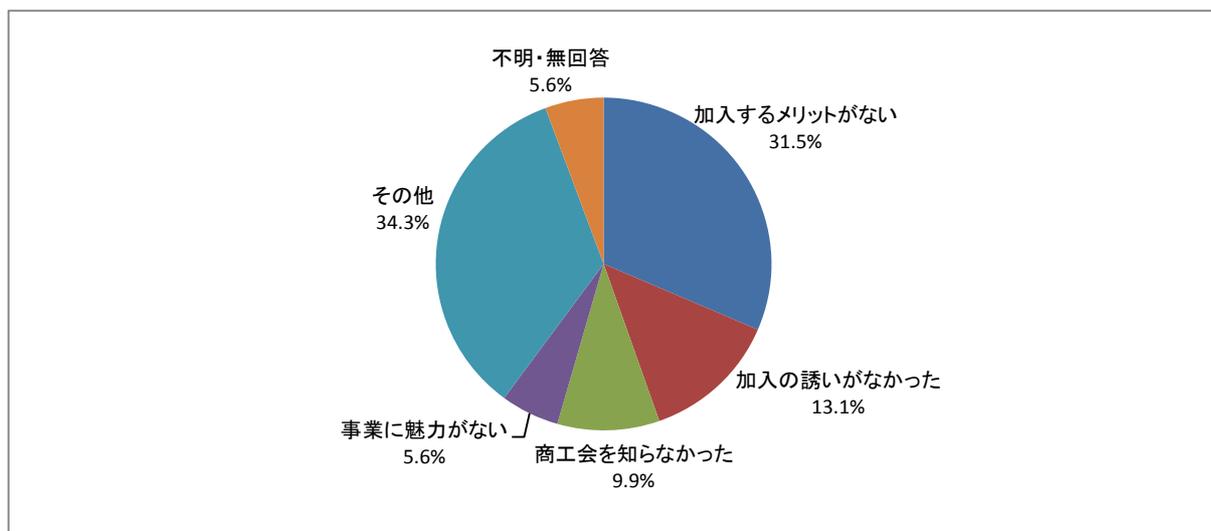
問8 商工会に加入されない理由は何ですか。(N=213)

問4の「加入していない」と回答した 36.3%(190 件)の方への設問です。

「加入の誘いがなかった」と「知らなかった」を合わせると 23%にもなります。勧誘活動などで会員数を増やせる可能性がありそうです。

「その他」が 34.3%(73 件)もあるのが目につきます。具体的な記述回答は 38 件でした。

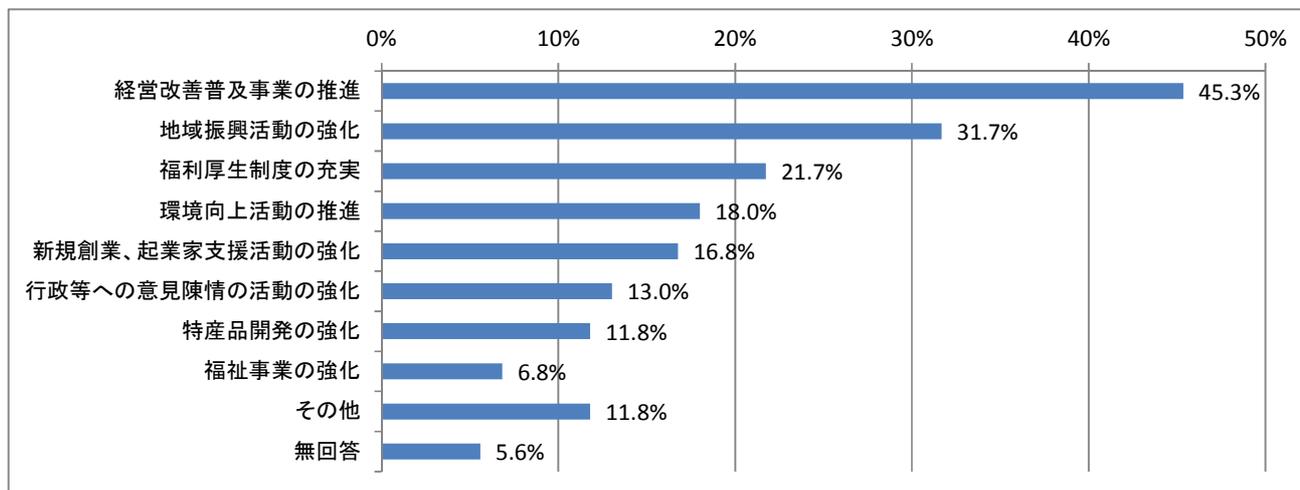
「商工会入会に合致する法人や組織でない」が 9 件、「本社や系列会社が入会しているから」が 7 件、「規模が小さいから」が 6 件、「過去に入会していたが退会した」が 6 件、「他の地域の商工会に入会しているから」が 4 件となっています。



問9 商工会のどのような事業にメリットまたは魅力を感じますか。(N=161)【複数回答】

問4の「加入していない」に回答した 36.3%(190 件)のうちで、更に問 8 の「加入するメリットがない」31.5%または「事業に魅力がない」5.6%に回答した 37.1%(79 件)の方への設問です

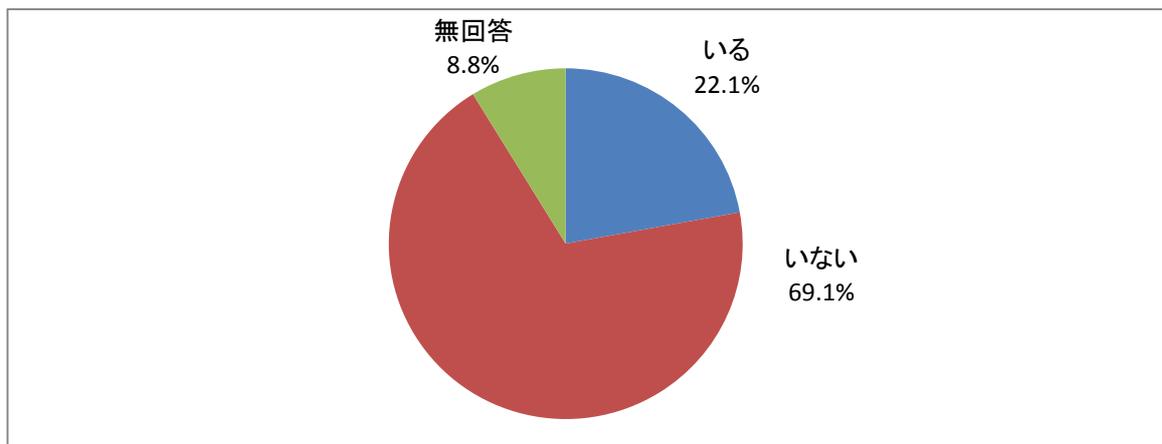
「商工会に加入している」人への設問である問7「商工会が今後強化すべき事業は」の回答と比較してみると、「福利厚生制度の充実」が上位に来ています。商工会に入会している方以上に未加入の方は、福利厚生制度の充実を求めていることが分かります。「経営改善普及事業の推進」は加入者・未加入者双方ともが望んでいる項目であることわかります。



商店会について

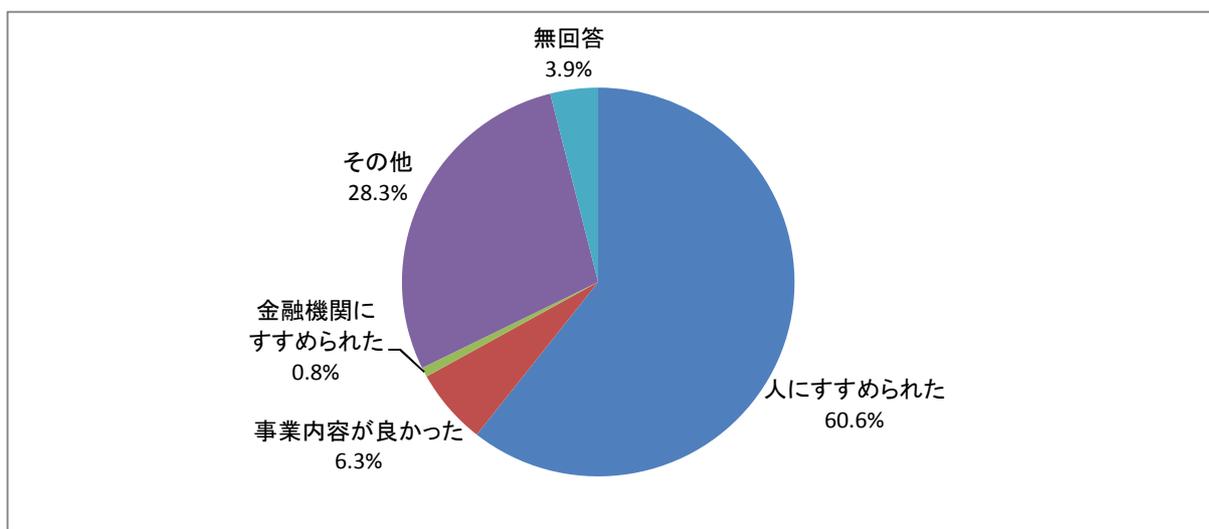
問10 商店会に加入していますか。(N=524)

商店会に「加入していない」は7割で、商工会に「加入していない」の36%と比べると大幅に上回っています。



問11 商店会に加入されたきっかけは何ですか。(N=127)

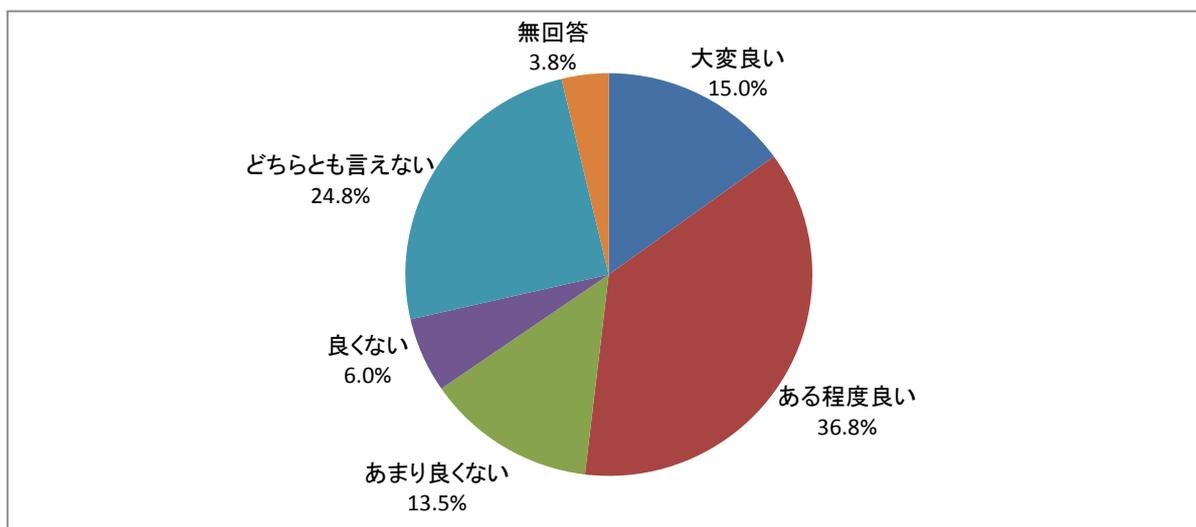
問10の「商店会に加入している」に回答した 22.1%(116 件)の方への設問です。



問12 商店会のイメージはいかがですか。(N=133)

問10の「商店会に加入している」に回答した 22.1%(116 件)の方への設問です。

「大変良い」と「ある程度良い」で半数を越えます。「良くない」と「あまり良くない」で約2割となります。

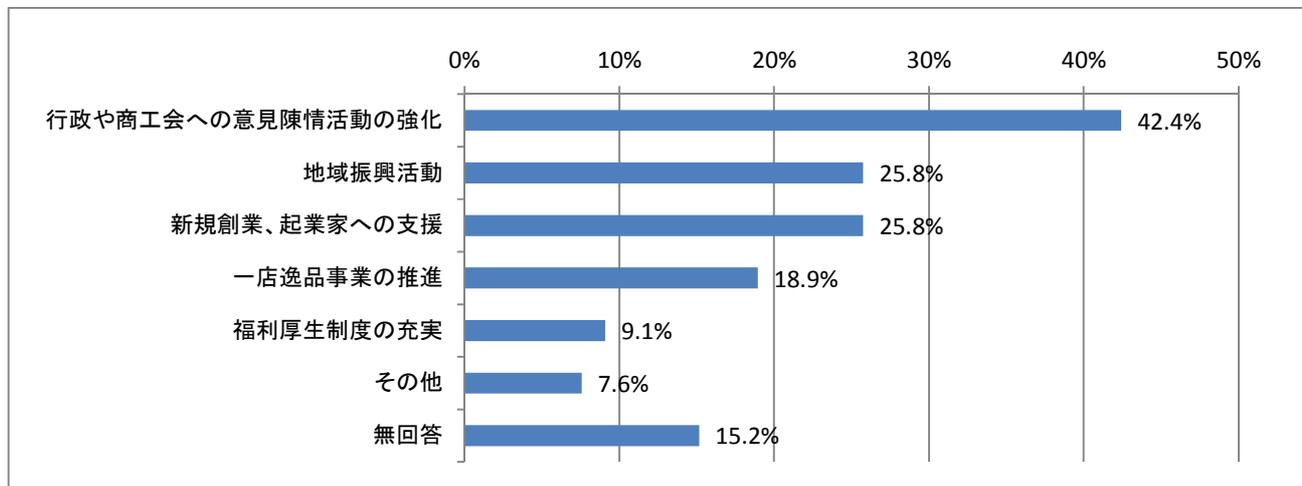


問13 商店会が今後強化すべき事業は何ですか。(N=132)【複数回答】

問10の「商店会に加入している」に回答した 22.1%(116 件)の方への設問です。

「行政や商工会への意見陳情活動の強化」を 4 割以上の方が望んでいます。

「その他」7.6%(10 件)のうち 6 事業所の方が回答しています。「商工会と行政の協力推進」「旧人(すでに世に出ている人)の努力」等が挙げられました。

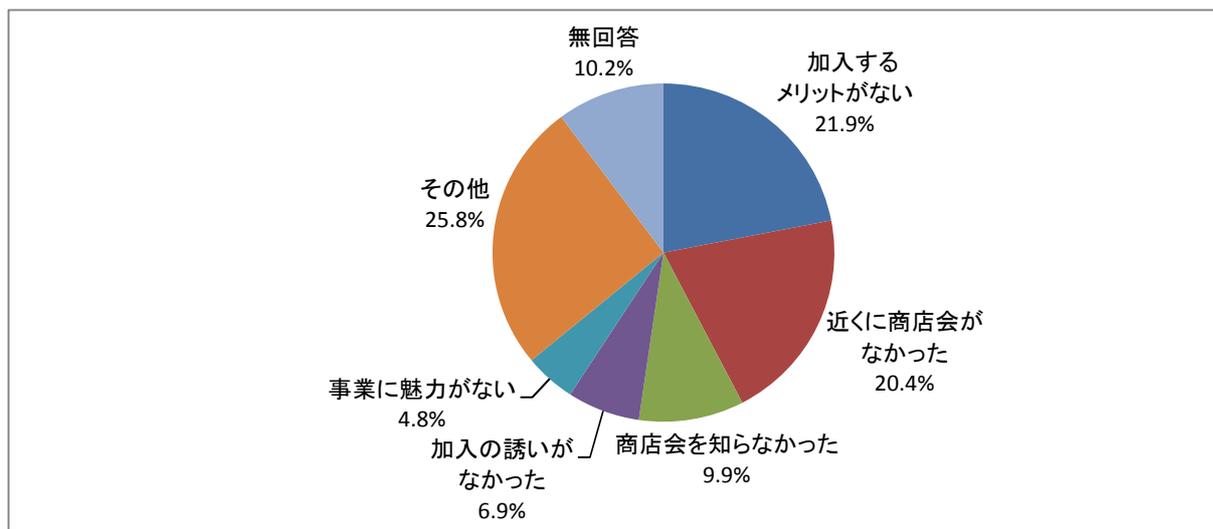


問14 商店会に加入されない理由は何ですか。(N=392)

問10の「商店会に加入していない」に回答した 69.1%(362 件)の方への設問です。

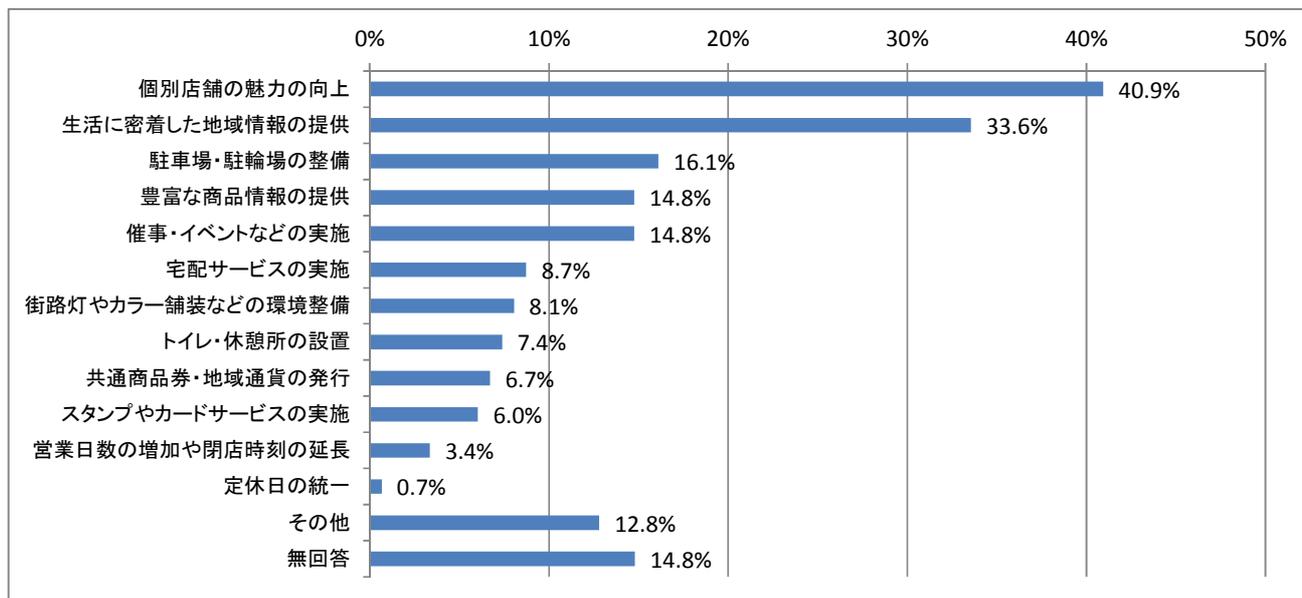
「その他」が四分の 1(101 件)という大きな割合を締めています。具体的な記述回答は 48 件でした。

その内訳の約半数は、「商店会加入対象の事業者でないため」というものでした。他には、商工会未加入事業所の「その他」と同様に「本社・本店が加入済みのため」という回答が 4 件ありました。「商店会対象地区に店舗をもっていない」と「事業所の所在地に商店会がない」を合わせると 10 件になりました。



問15 商店会は今後どのような事業を実施したらよいと思いますか。(N=149)【複数回答】

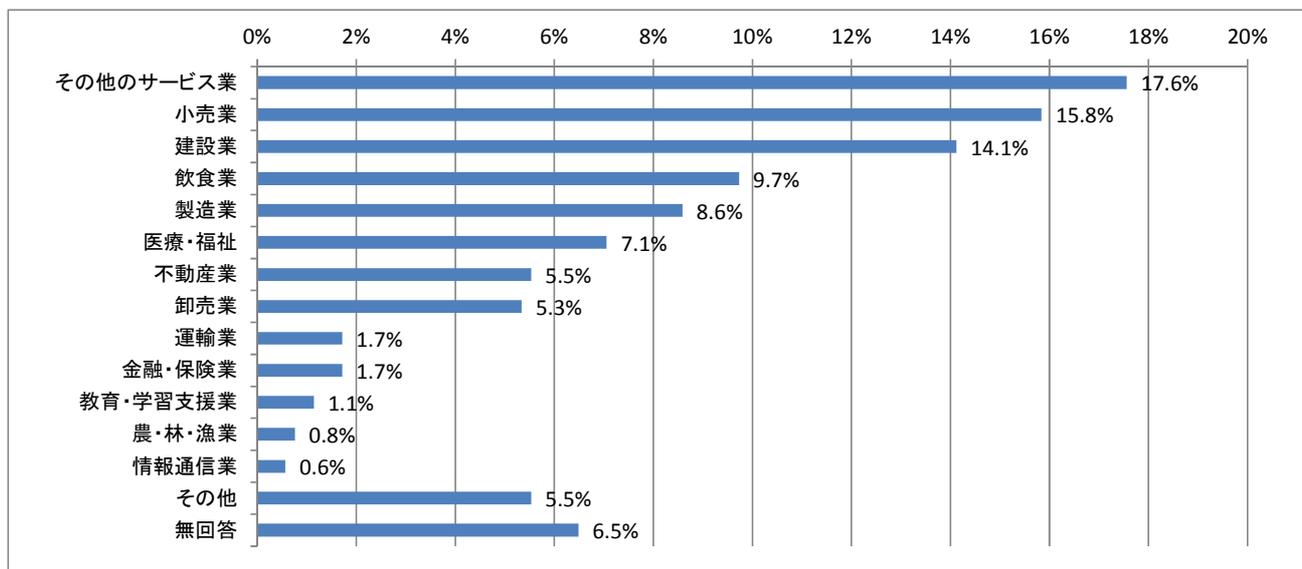
問10の「加入していない」と回答した 69.1%(362 件) 方で、更に問14の「加入するメリットがない」21.9%または「事業に魅力がない」4.8%に回答した 26.7%(105 件)の方への設問です
「その他」が 1 割以上ありますが、「事業内容と合わない」の記述が多く見られました。



事業所の運営や経営について

問16 貴事業所の事業内容のうち、最も売上高の多い内容についてご回答ください。(N=524)

回答対象事業者数は 524 ですが、複数回答があったため回答総数は 533 になりました。



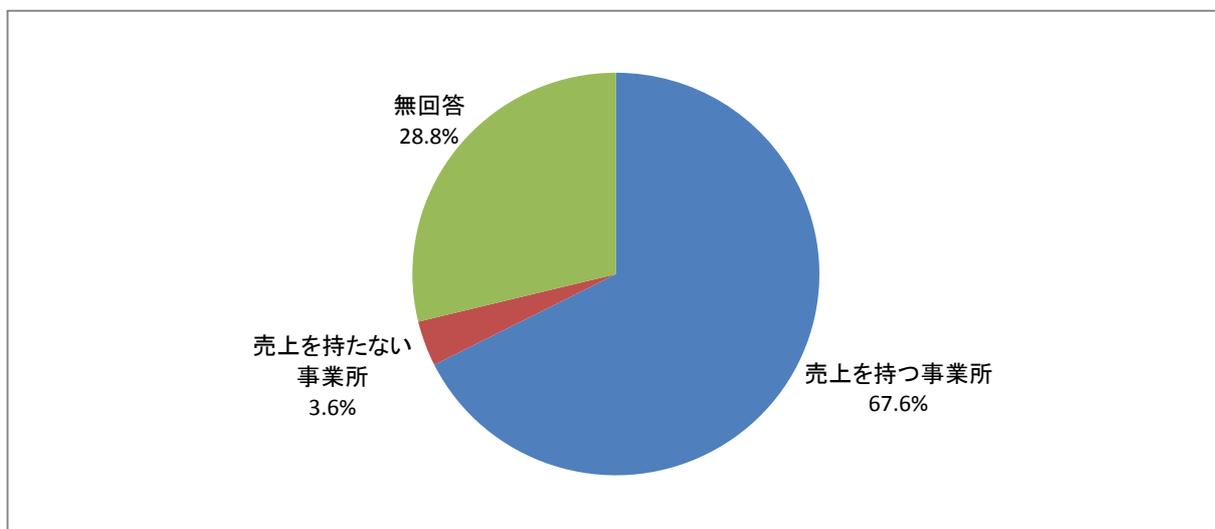
最多となっている「その他サービス業」には以下のような業種が入ります。

- ・美容室、理容室
- ・クリーニング店
- ・税理事務所、会計事務所
- ・修繕業
- ・設計事務所
- ・自動車整備
- ・測量事務所
- ・駐輪場
- ・ペットショップ
- ・リース業
- ・コンサルタント業
- ・整体整骨
- ・旅行会社
- ・広告代理店
- ・娯楽施設(カラオケなど)
- ・人材派遣業

「その他」は 5.5% (29 件) で、グラフから見ても大きな割合をしめているので、その内訳を以下に表記します。

1～3	駐輪場
4～5	農業に関する 7 保険事業 (農作物、家畜、園芸、果樹)
6	印刷物販売 (ビジネスフォーム専門)
7	造園業
8	神仏具商、仏壇及び神院用品
9	香料の研究開発を行い→他香料会社に製造委託→販売
10	高齢者の雇用の安定に関する法律に基づく団体
11	官公庁、小中高への納品業
12	平成22年より休止状態です
13	Web関連サービス
14	葬祭業
15	和菓子製造販売
16	コンサルタント、著述業
17	個人 (相続)
18	労働組合
19	委託金経営の為、利益目的でない。
20	金属繊維の販売 (非鉄)
21	介護専門のタクシー
22	行政書士、社会保険労務士事務所
23	鉄道車両等修理他
24	司法書士、行政書士
25	住宅・消毒業
26	建築設計、監理
27～29	無記入

問17 ①貴事業所の年間の売上高 (直近決算) についてお答えください。 (N=524)

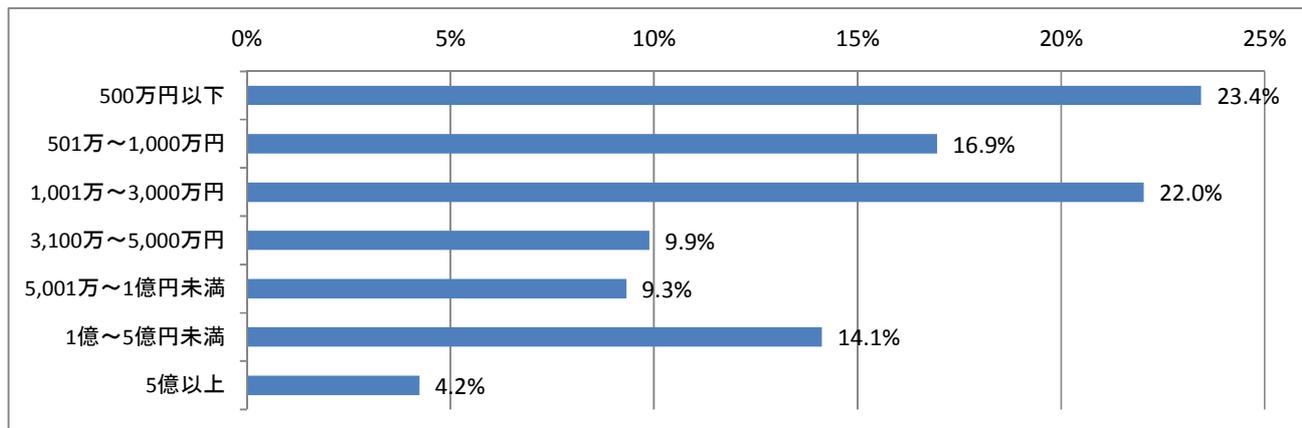


問17 ②事業所の最新決算期の年間の売上高を万円単位でご記入ください。(N=354)

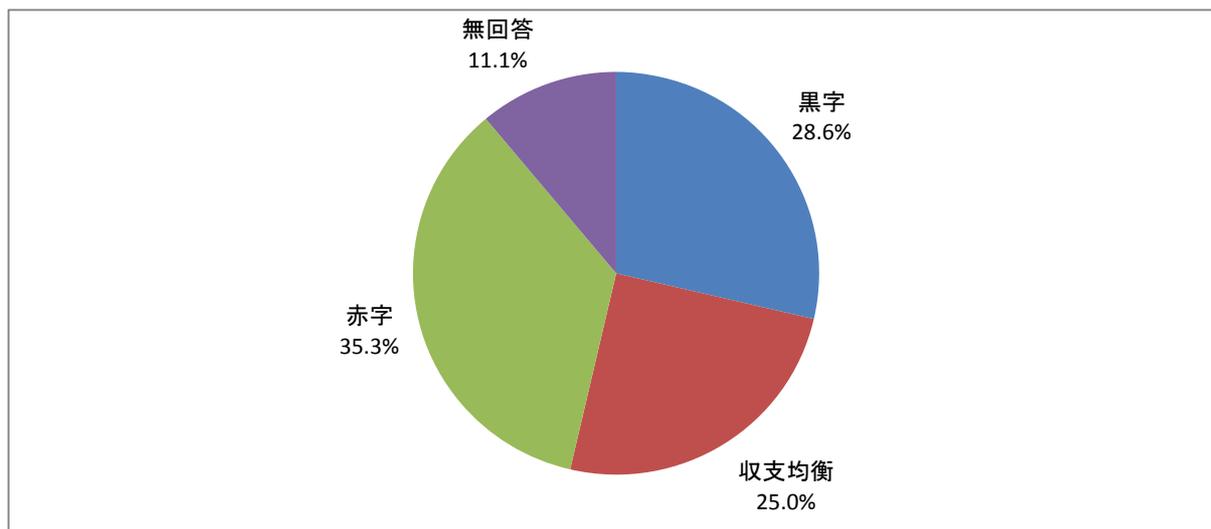
問17①で「売り上げを持つ事業所」と回答した 67.6%(354 件)の方への設問です。

「1億～5億円未満」が 14.1%(50 件)、「5億円以上」が 4.2%(15 件)で、合わせて 2割近くもあります。

「500万円以下」と「1,001万～3,000万円」がほぼ同率で、こちらは 2割強となっています。

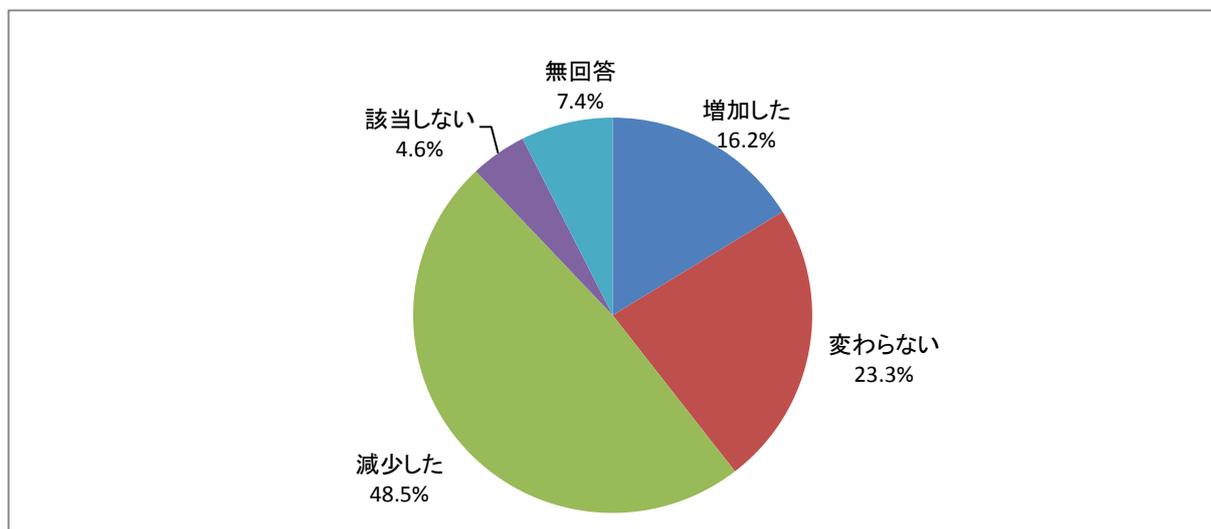


問18 貴事業所の年間の利益はいかがでしたか。(N=524)

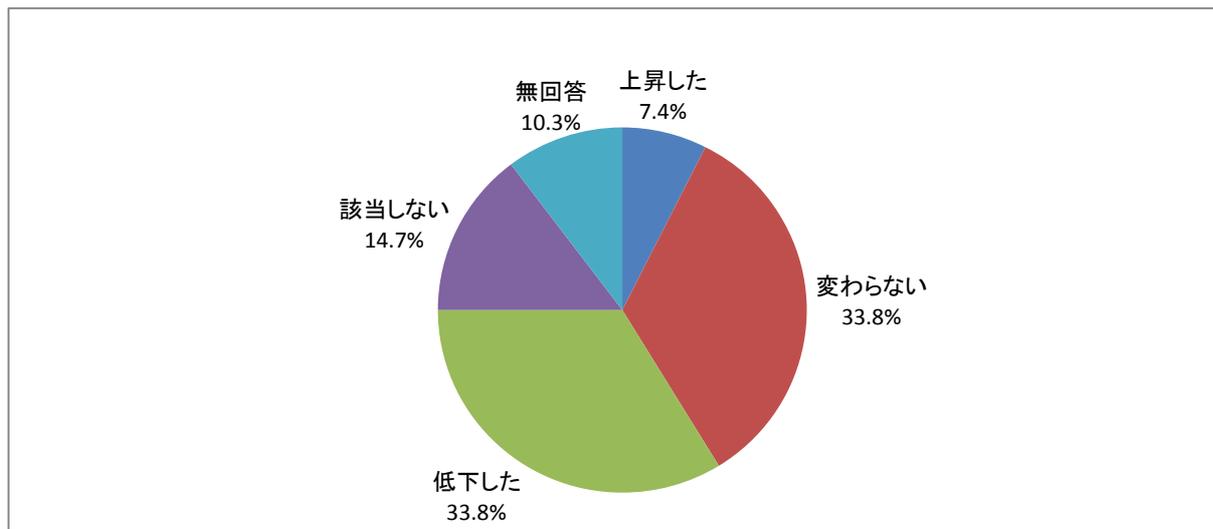


問19 貴事業所の売上は、直近決算と前期決算を比べて増加しましたか、減少しましたか。(N=524)

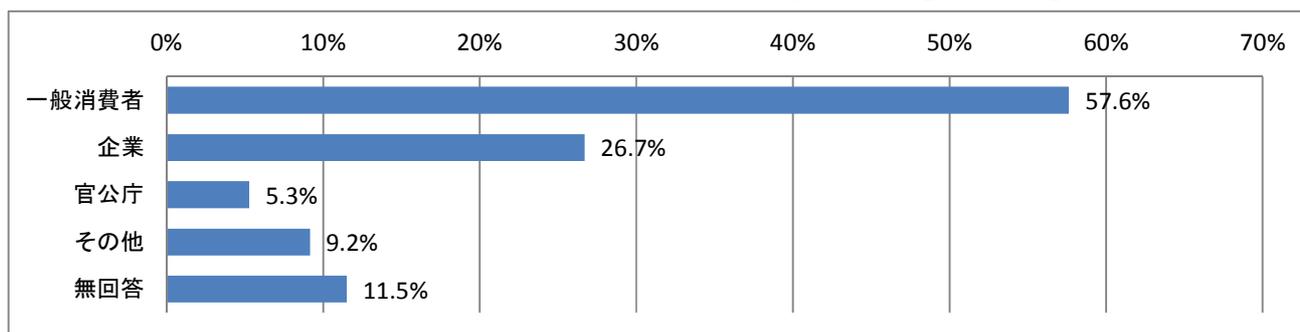
「減少した」事業所は半数近くもあります。



問20 貴事業所の販売単価は、直近決算と前期決算を比べて上昇しましたか、低下しましたか。(N=524)
 「低下した」と「変わらない」を合わせると 67.6%で、7 割近くにものぼります。一方「上昇した」は 7.4%でした。
 厳しい経営状況であることが伺えます。

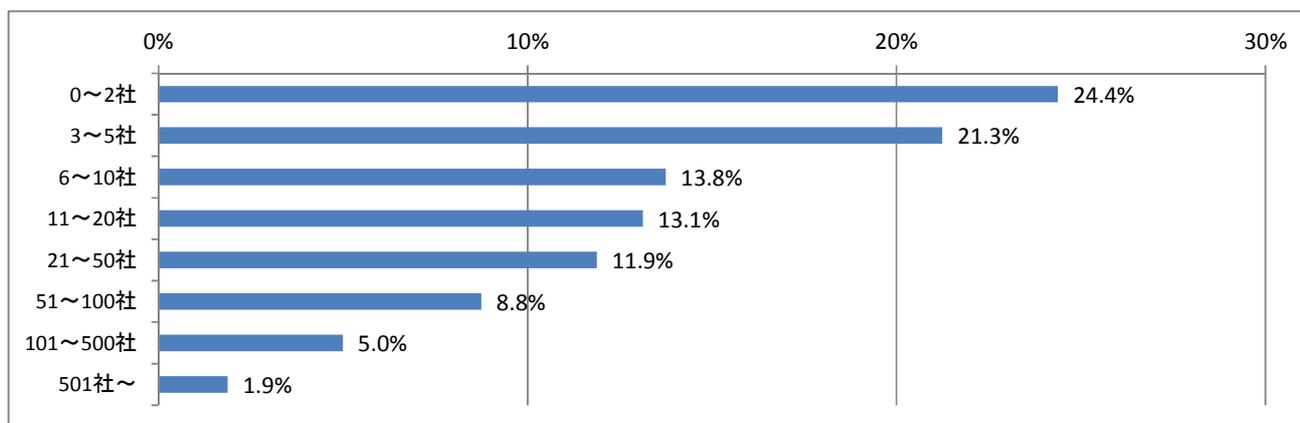


問21 貴事業所の主力となる顧客は、次のうちどれに該当しますか。(N=524)【複数回答】



問22 貴事業所の顧客は何社ですか。(N=160)

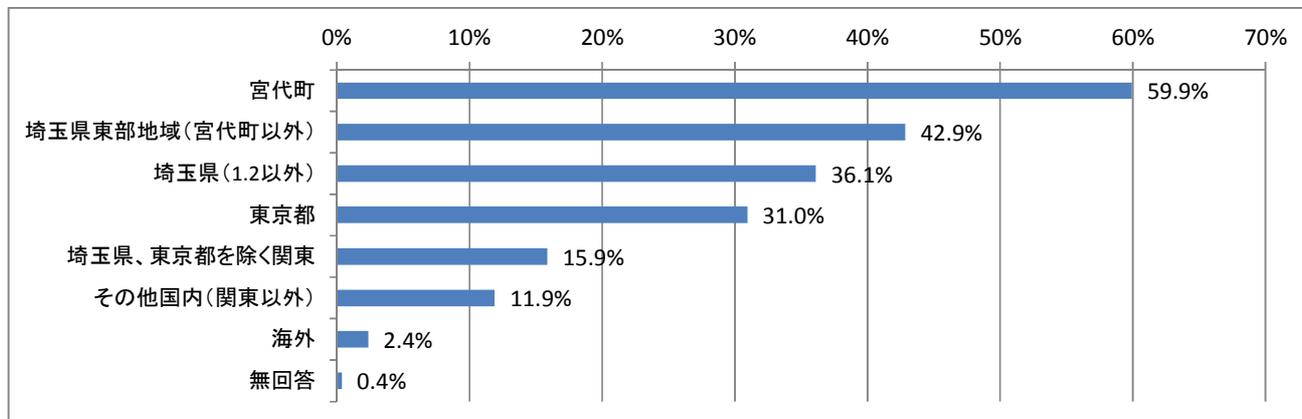
問21で「主力顧客が企業」と回答した 26.7%(140 件) 方への設問です。



問23 顧客の立地する地域は、どちらですか。(N=252)【複数回答】

問21で「主力顧客が企業」と回答した 26.7%(140 件) 方への設問です。252 の事業所が回答しています。海外と取引がある事業所は 6 件です。

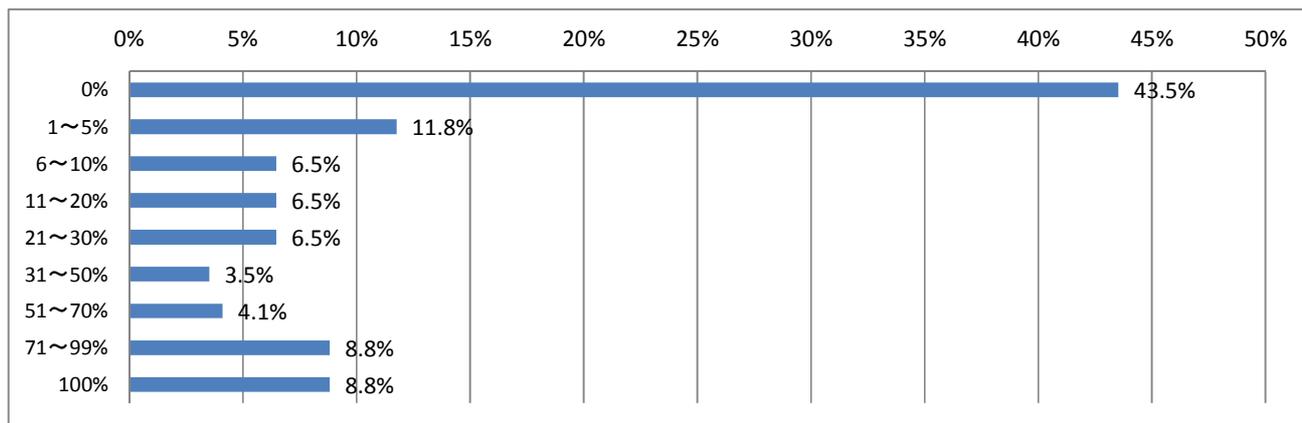
「中国」を対象とするが 1 件、「アメリカ/ヨーロッパ/中東/アジア」と広く取引があるが 2 件、「主にオーストラリア」が 1 件、「主に台湾」が 1 件となっていました。



問24 顧客(取引先企業)のうち、宮代町に立地する企業はおよそ何%ですか。(N=170)

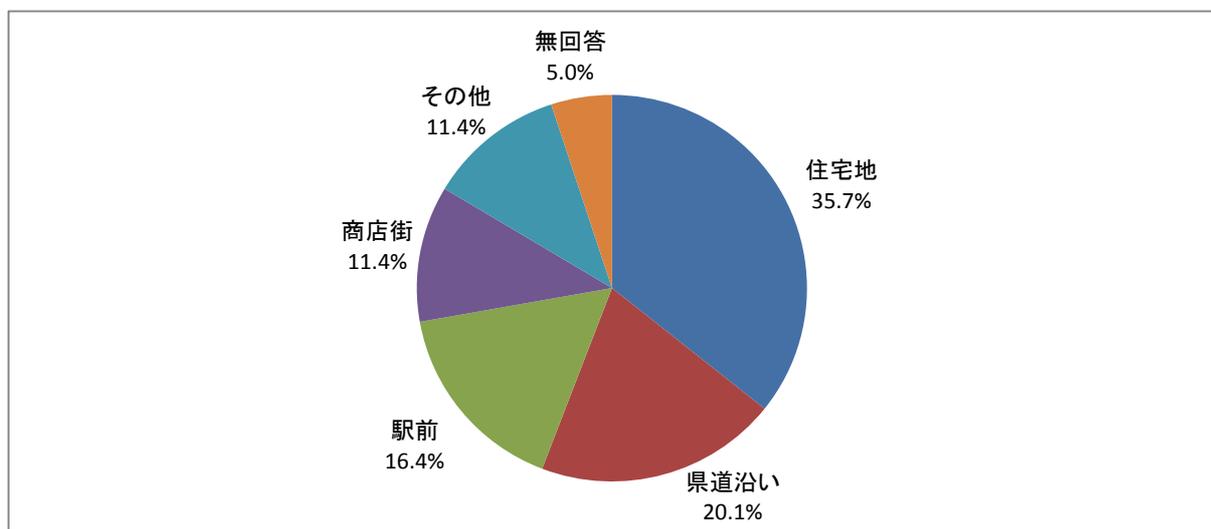
問21で「主力顧客が企業」と回答した 26.7%(140 件) 方への設問です。170 の事業所が回答しています。

宮代町に立地する企業と取引がないところが圧倒的に多く 43.5%です。70%を超える事業所は 2 割以下です。



問25 貴事業所の店舗はどのような場所に立地していますか。(N=378)

問21で「主力顧客が一般消費者」と回答した 57.6%(302 件) の方への設問です。

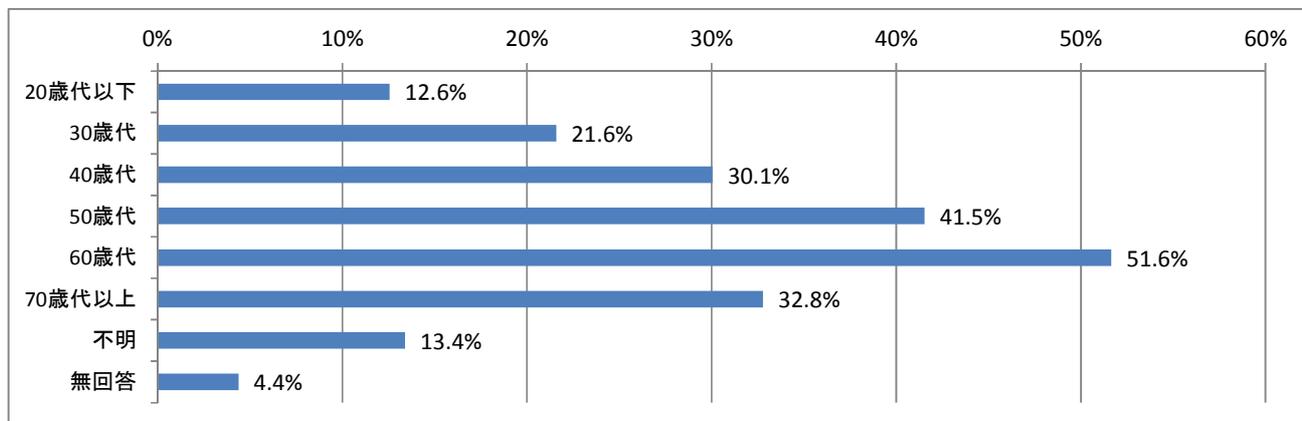


問26 貴事業所の顧客の年齢層は何歳代が多いですか。(N=366)【複数回答】

問21で「主力顧客が一般消費者」と回答した 57.6%(302 件)の方への設問です。

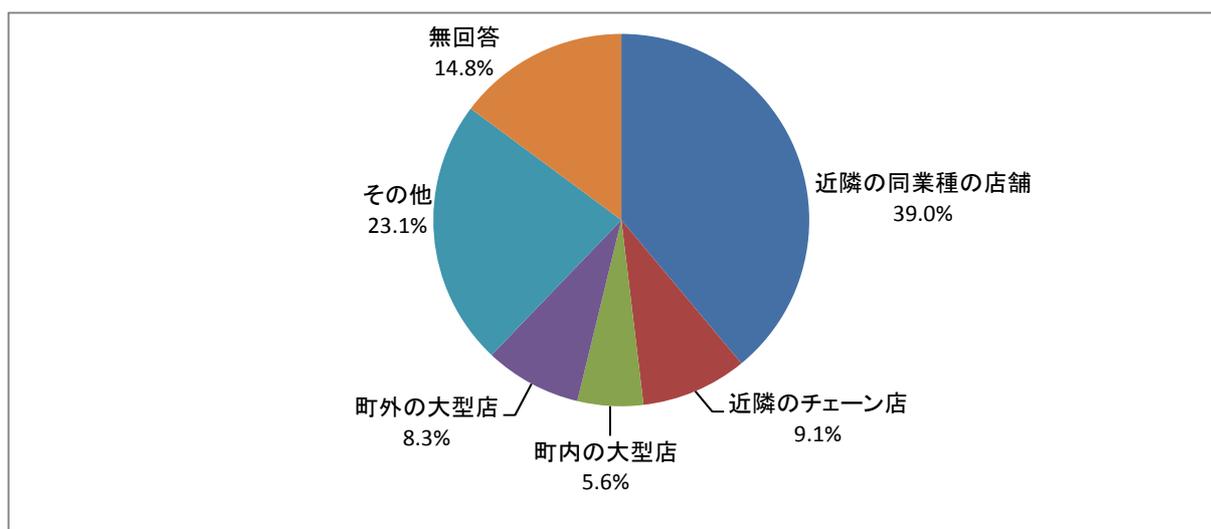
住民の年代分布グラフ(消費者動向調査集計における調査票配布年代別集計グラフ)と比較すると、似たような傾斜を描いていますが、40代と70代の顧客数の割合は少ないと言えます。

40代は地元より、勤務先所在地近くの店や事業者を利用することが多い世代と推測されます。



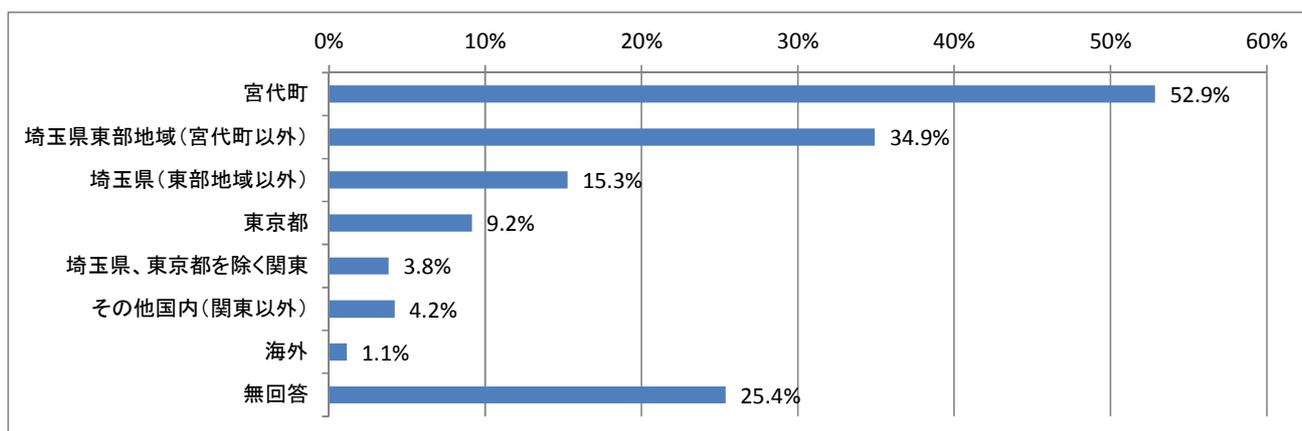
問27 貴事業所の最も競合する店舗は何ですか。(N=372)

問21で「主力顧客が一般消費者」と回答した 57.6%(302 件)の方への設問です。

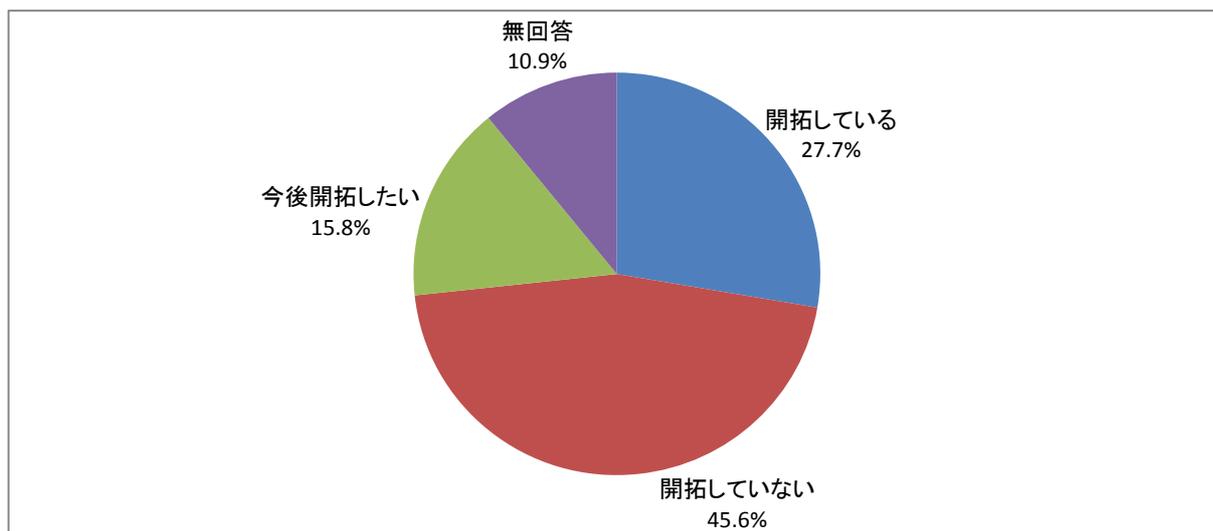


問28 どの地域の顧客を開拓したいと思いますか。(N=524)【複数回答】

問21に回答いただいたすべての事業所の方に回答いただく設問です。「海外」回答者には国や地区名の記入を問う設問でした。「海外」の回答率 1.1%は 6 事業所にあたり、記入があったのは 1 件で「ベトナム」でした。



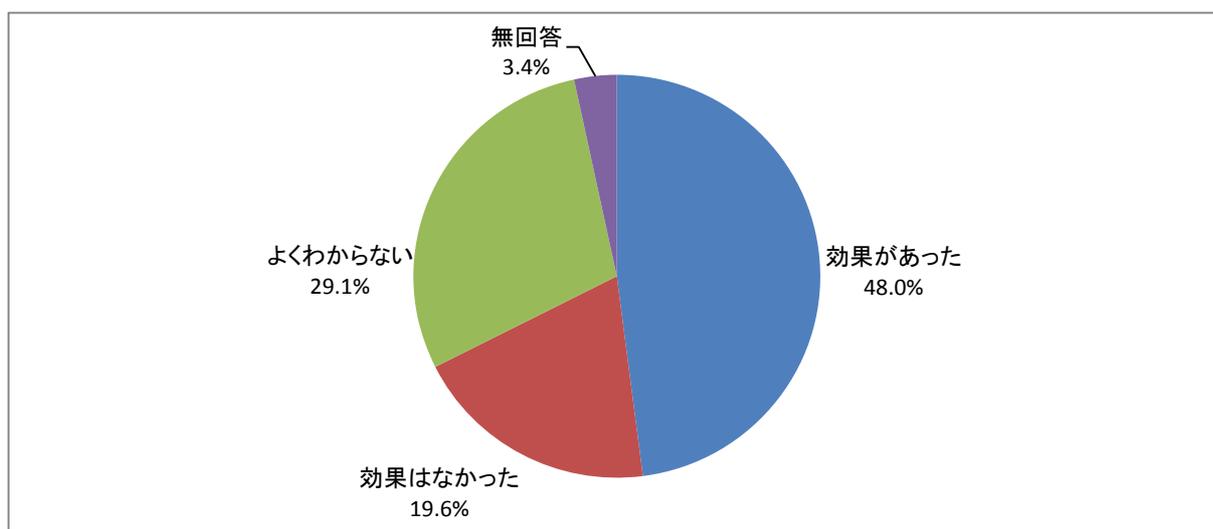
問29-1 新規顧客の開拓をしていますか。(N=524)



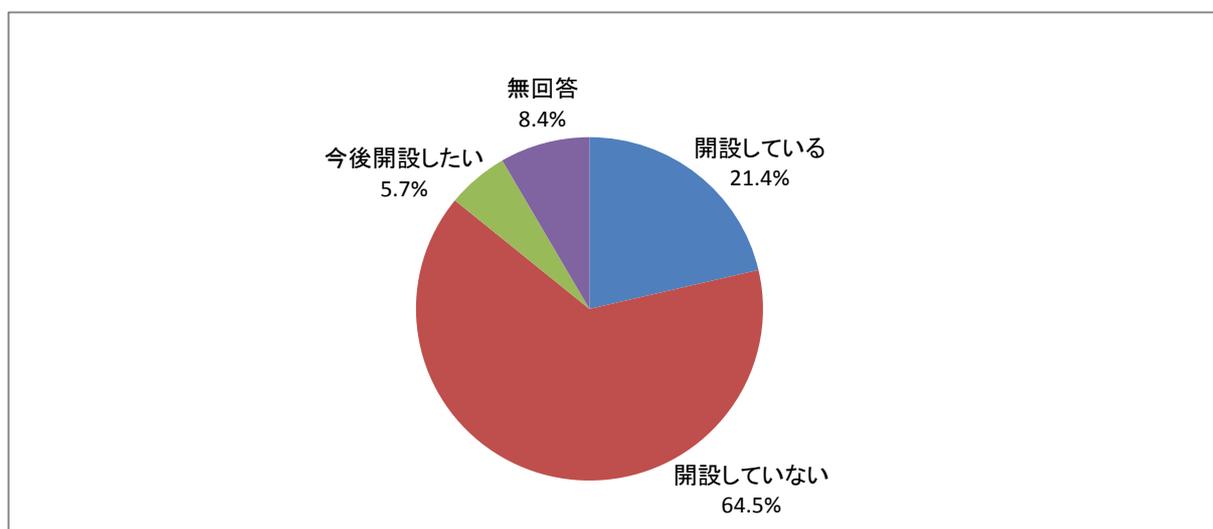
問29-2 開拓している場合、効果はありましたか。(N=148)

問29-1で「開拓している」27.7%(145件)に回答した方への設問です。

「よくわからない」が29.1%、「効果はなかった」を加えると48.7%で半数近くをのびます。以降問30～34までも同様ですが、新たな顧客誘導活動には効果検証の仕組みが考慮される必要があるでしょう。

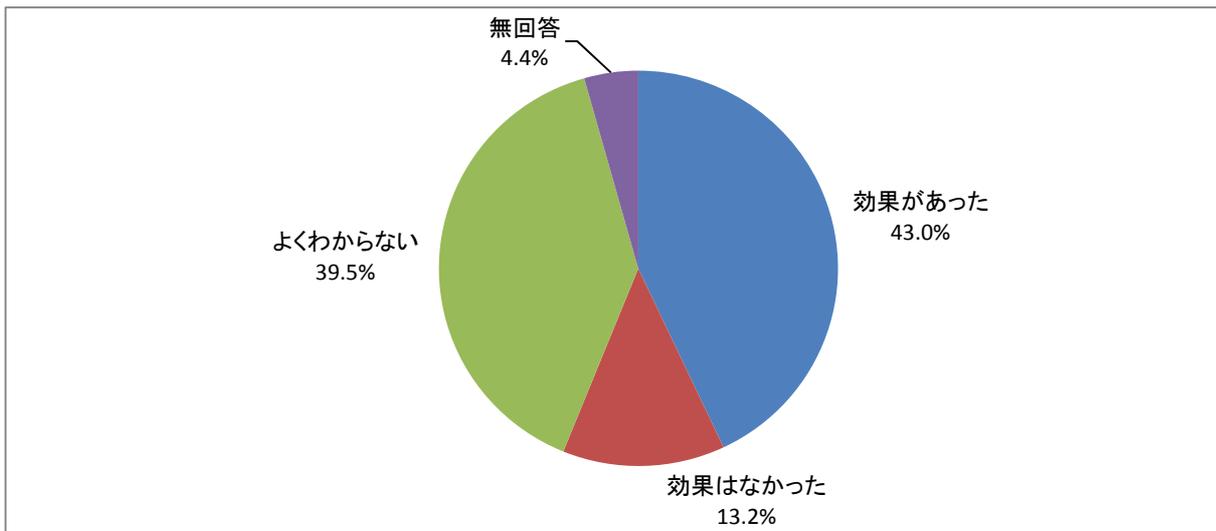


問30-1 自社ホームページを開設していますか。(N=524)

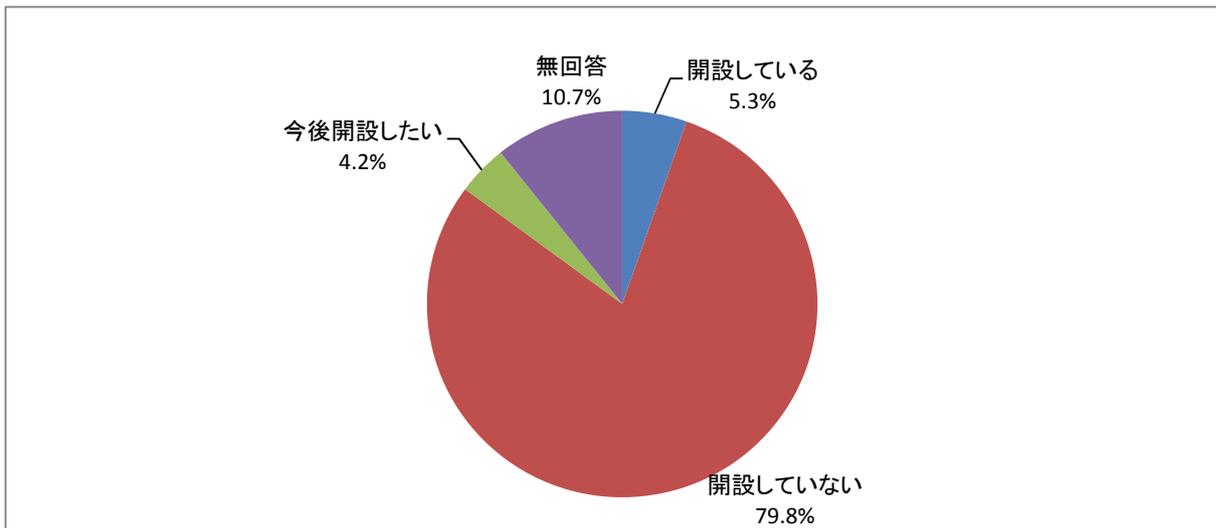


問30-2 開設している場合、効果はありましたか。(N=114)

問30-1で「開設している」21.4%(114件)に回答した方への設問です。「よくわからない」と「効果はなかった」を合わせると52.7%で、半数以上です。

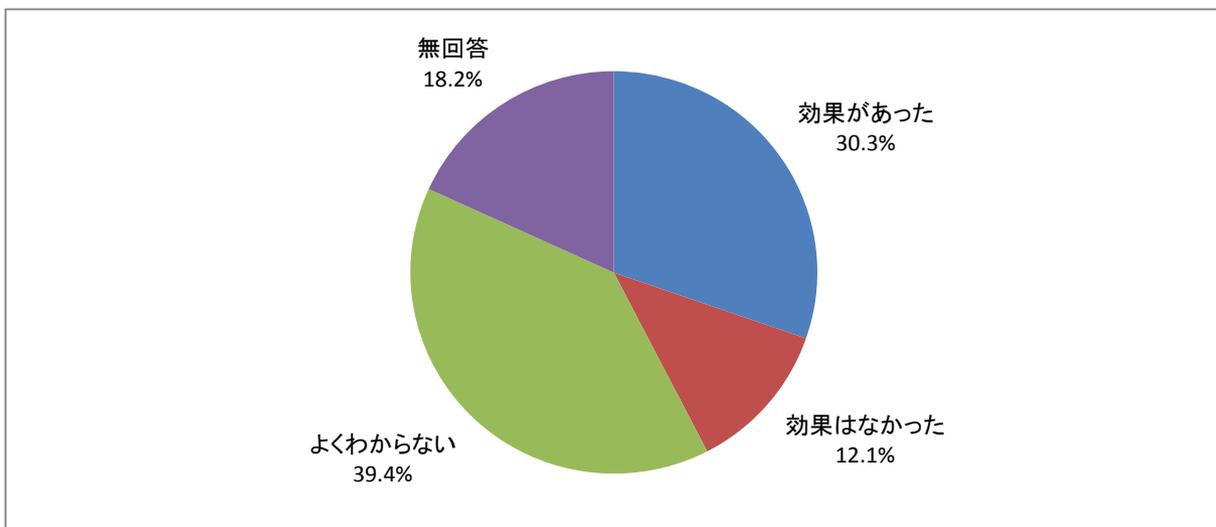


問31-1 ブログ、twitter、その他 SNS を開設していますか。(N=524)

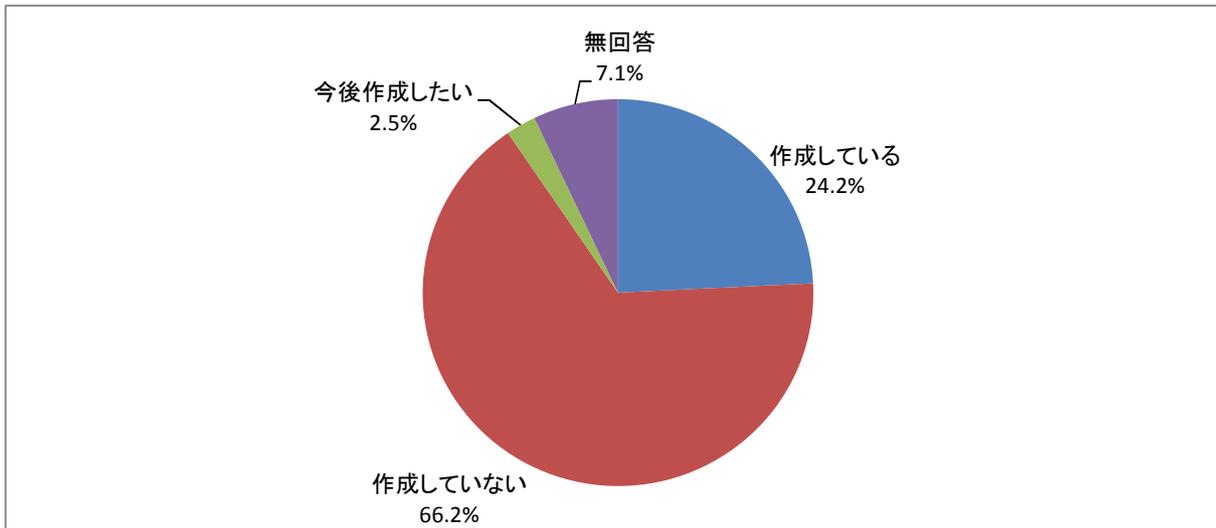


問31-2 開設している場合、効果はありましたか。(N=33)

問31-1で「開設している」5.3%(28件)に回答した方への設問です。「よくわからない」と「効果はなかった」を合わせると51.5%で、半数以上となります。

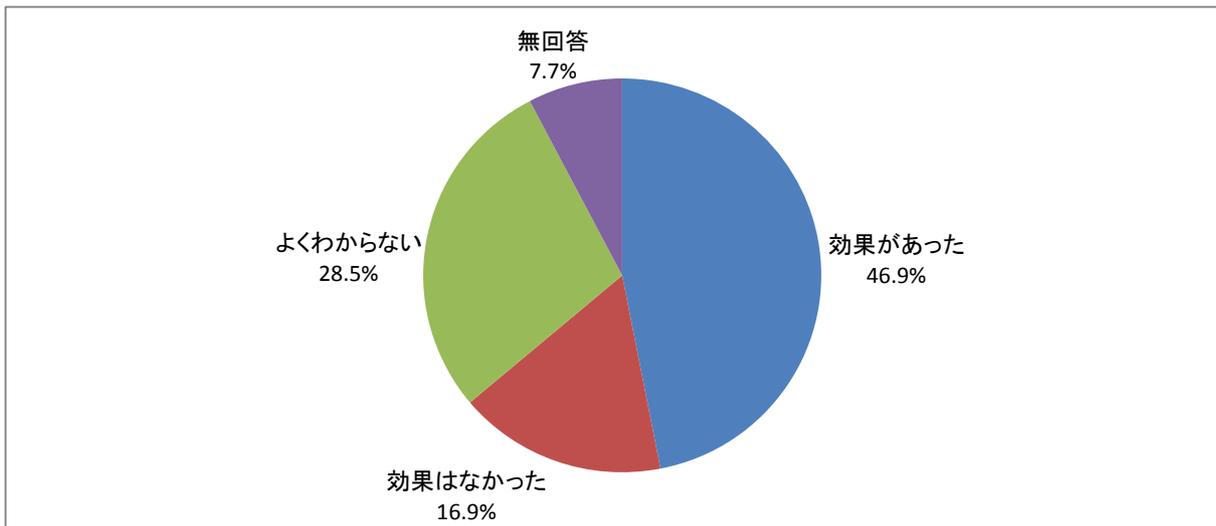


問32-1 チラシ・パンフレットを作成していますか。(N=524)

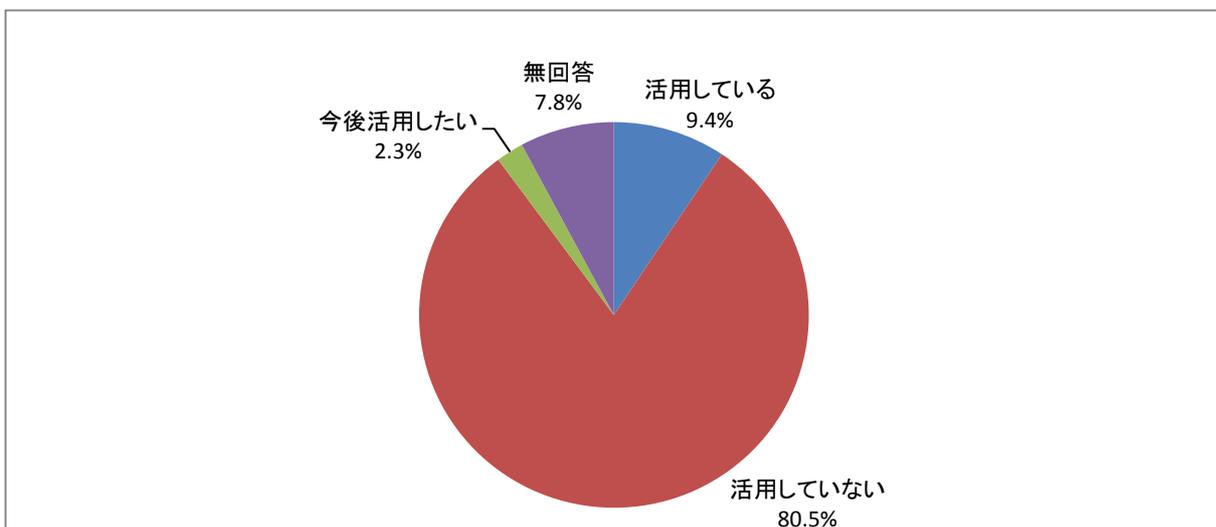


問32-2 チラシ・パンフレット作成している場合、効果はありましたか。(N=130)

問32-1で「作成している」24.2%(127件)に回答した方への設問です。「よくわからない」と「効果はなかった」を合わせると45.4%です。

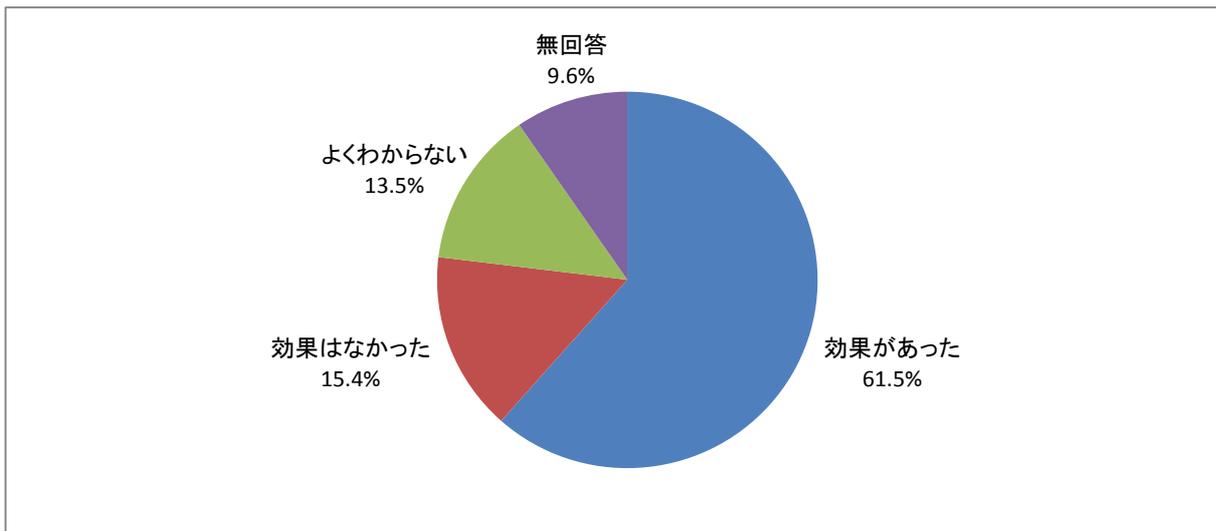


問33-1 ダイレクトメールを活用していますか。(N=524)

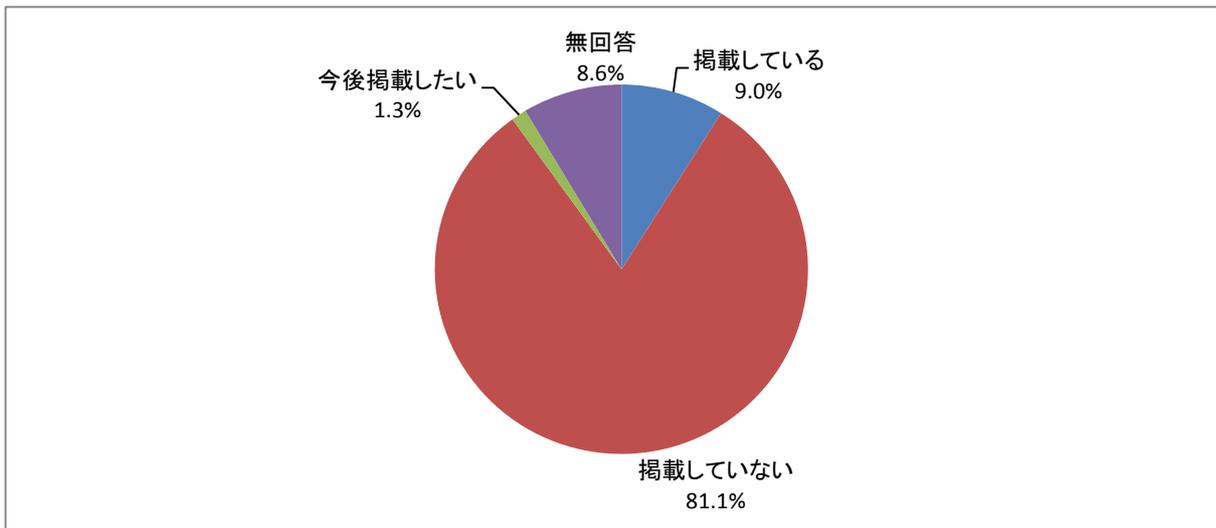


問33-2 ダイレクトメールを活用している場合、効果はありましたか。(N=52)

問33-1で「活用している」9.4%(49件)に回答した方への設問です。「よくわからない」と「効果はなかった」を合わせると28.9%です。これまでの顧客誘導メディアの中で最も「効果があった」の回答が多いものです。

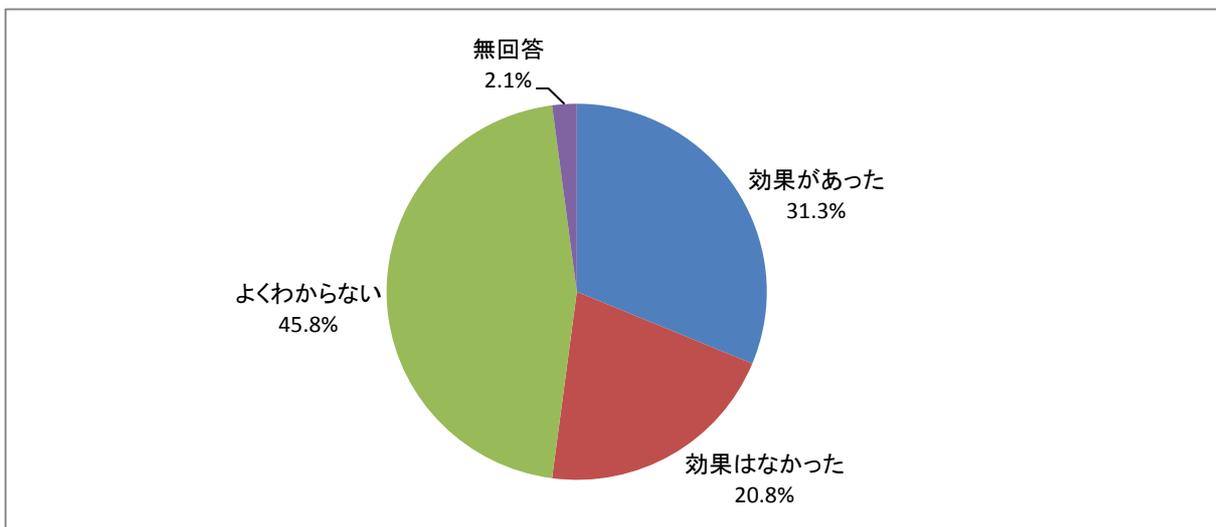


問34-1 業界紙・専門誌への広告を掲載していますか。(N=524)



問34-2 業界紙・専門誌へ掲載している場合、効果はありましたか。(N=48)

問34-1で「掲載している」9.0%(47件)に回答した方への設問です。「よくわからない」と「効果はなかった」を合わせると66.6%です。



問35 その他、具体的に問29～34以外の取り組みがあればご記入ください。(N=524)

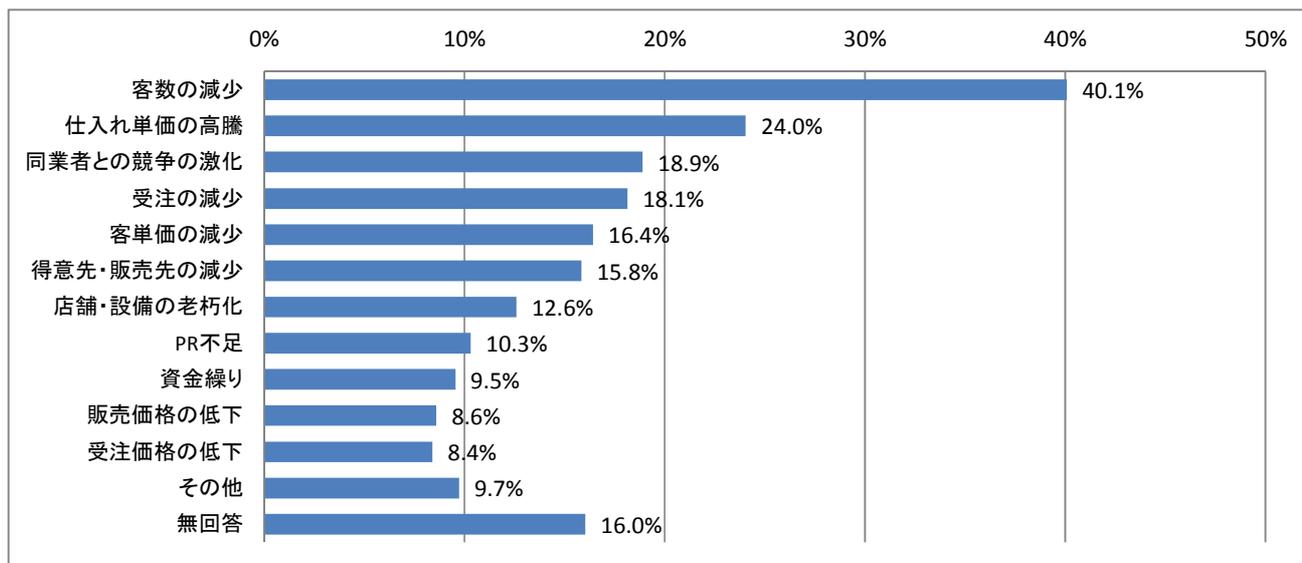
記述式の自由回答の問です。

25名の方に回答を頂きました。詳細は別途集計報告いたします。

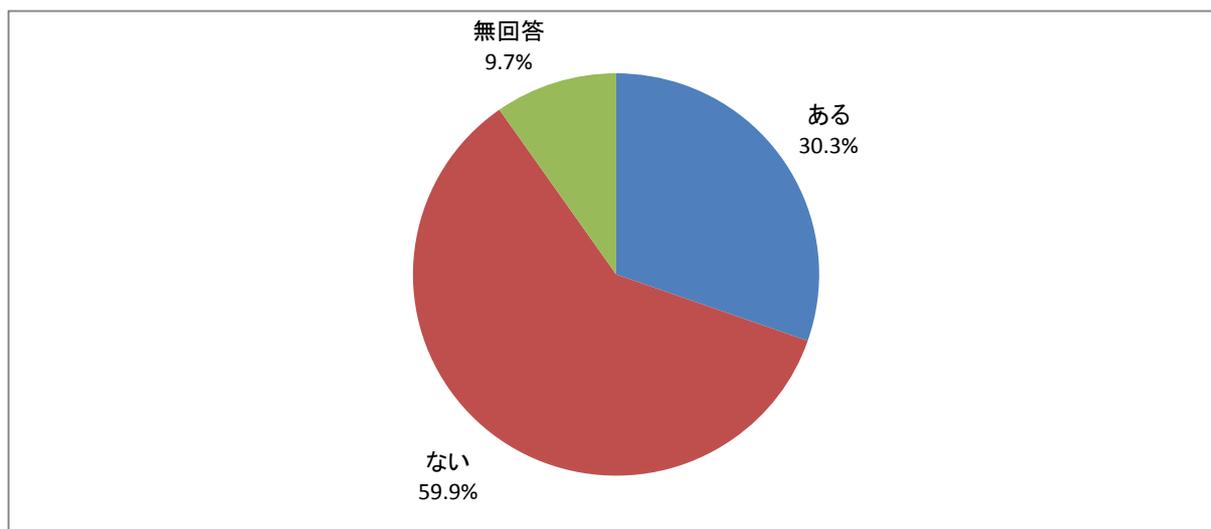
記入有り	25人	4.8%
記入無し	499人	95.2%
合計	524人	100%

問36 貴事業所の営業上の問題点や課題は何ですか。(N=524)【複数回答】

「その他」9.7%(51名)の内訳は、第1位が従業員の問題で「人手不足」と「職人の高齢化」が挙げられました。次いで「客層の変化」というご意見でした。

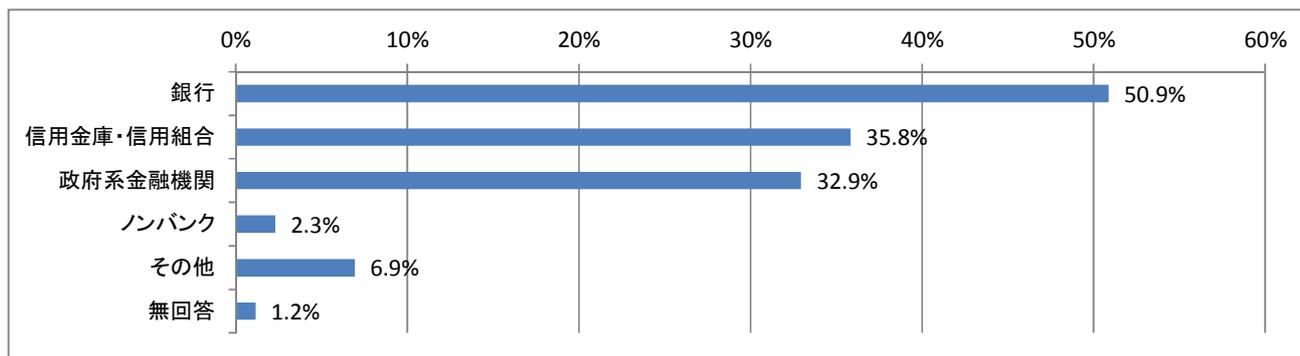


問37 貴事業所では、金融機関からの借入れはありますか。(N=524)



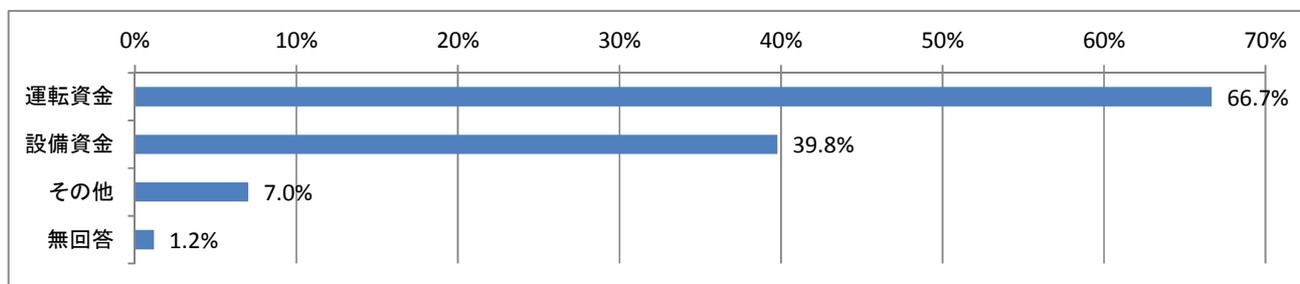
問38 現在、どの金融機関から借入れをしていますか。(N=173)【複数回答】

問37で「金融機関からの借入れがある」30.3%(159件)に回答した方への設問です。
 「その他」6.9%(12件)には、「JA」「商工会」「事業所の本部」が各2件ずつ挙がりました。



問39 その借入金の用途は何ですか。(N=171)【複数回答】

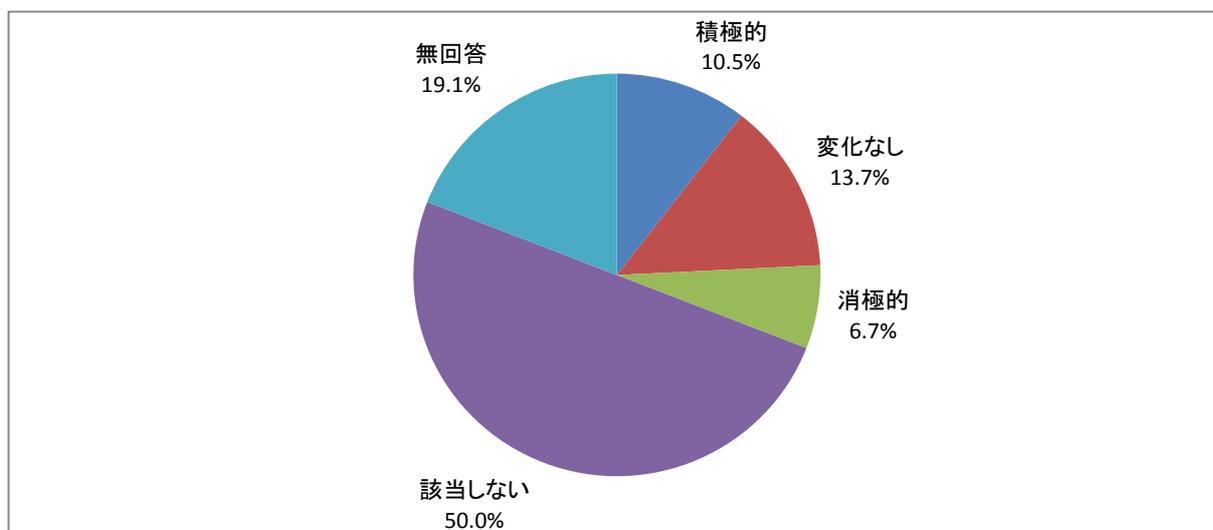
問37で「金融機関からの借入れがある」30.3%(159件)に回答した方への設問です。
 「その他」7.0%(12件)には、「住宅ローン」「増築・改築・改装」が合わせて6件挙がりました。



問40「現在の金融機関の融資姿勢」について、感じることをご回答ください。(N=524)

『金融機関からの借入れがないなど回答が難しい場合は「該当しない」を選ぶように』という説明が設問の補足として記載されています。

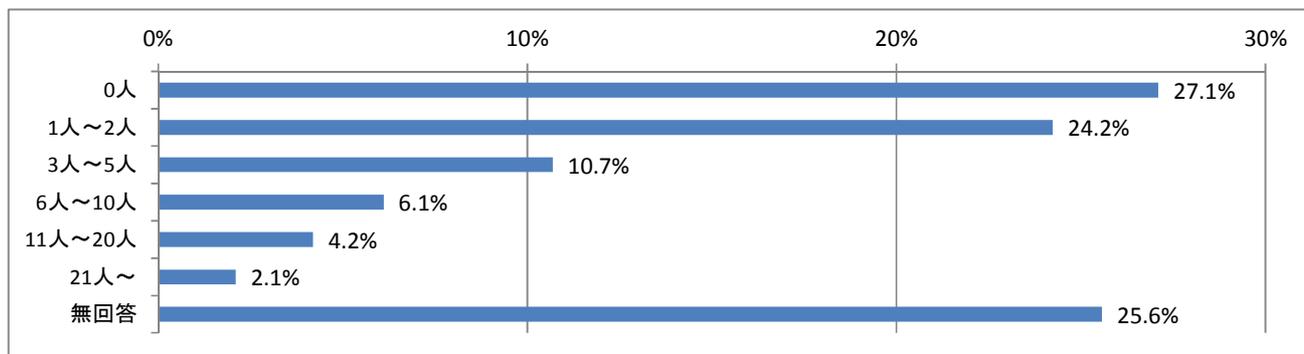
なお、問37で「金融機関からの借入れがない」と回答されている方は59.9%でしたので、無回答のうちの約10%が「該当しない」にあたりと推測されます。



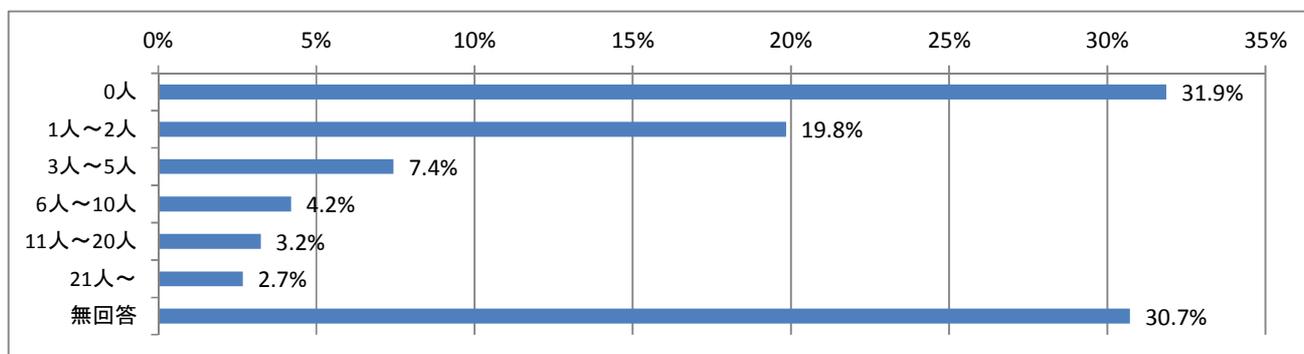
問41 貴事業所の平成25(2013)年1月末の正社員、非正社員は何人ですか。

問42も合わせて見ますと、圧倒的にひとり、または家族1～2名で事業をおこなっている事業者が多いことがわかります。問47の「その他」の回答にも、そのことを表す記載がありました。なかでも、自分ひとりで仕事をしている人が1位をしめています。

2013年1月末の正社員数 (N=524)



2013年1月末の非正社員数 (N=363)

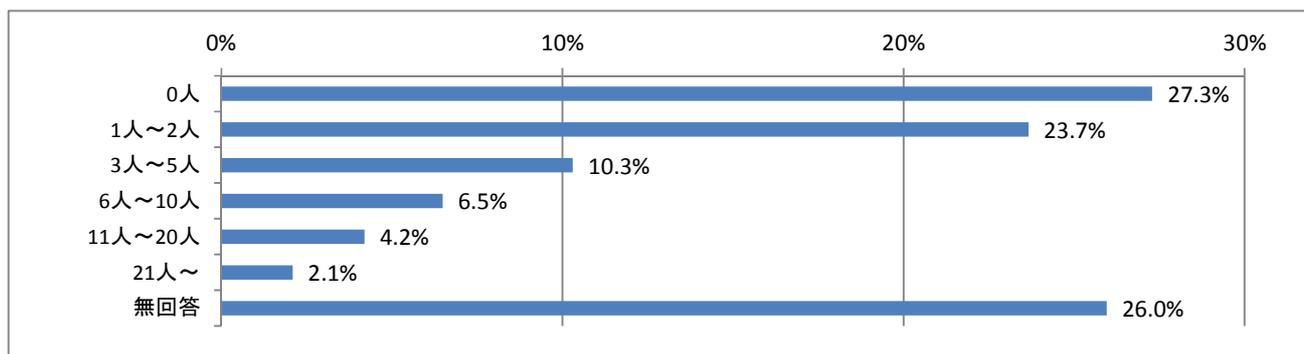


回答頂いた数値から事業所の正社員・非正社員の平均値を出すと以下のようになりました。非正社員の雇用数が多いことがわかります。

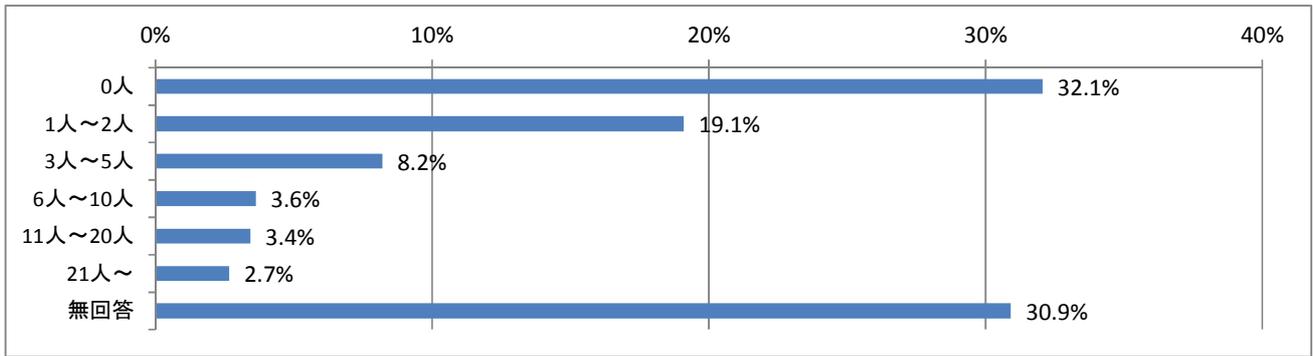
事業所正社員平均数	3.7人
事業所非正社員平均数	4.6人

問42 貴事業所の平成26(2014)年1月末の正社員、非正社員は何人ですか。

2014年1月末の正社員数 (N=524)



2014年1月末の非正社員数 (N=524)

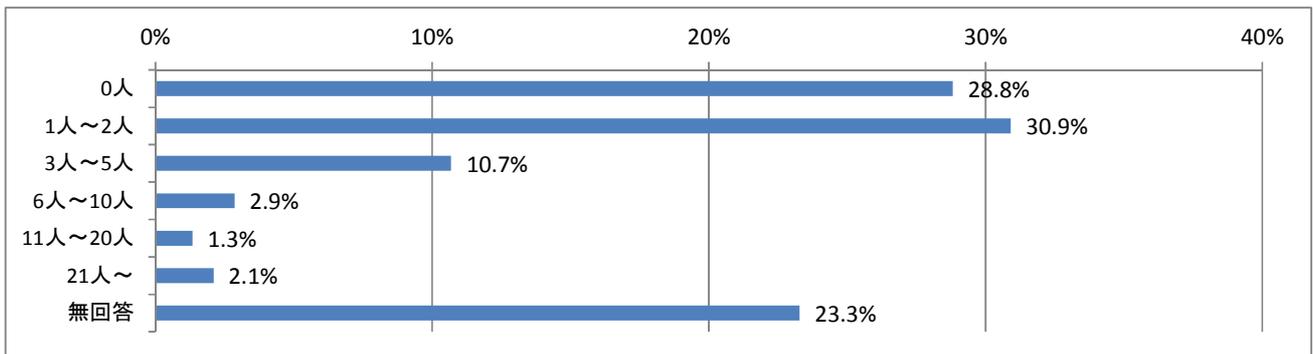


問41から1年後の雇用者人数の推移です。

平均値で比較しますと、正社員・非正社員ともに0.1人の差でほぼ変わりません。

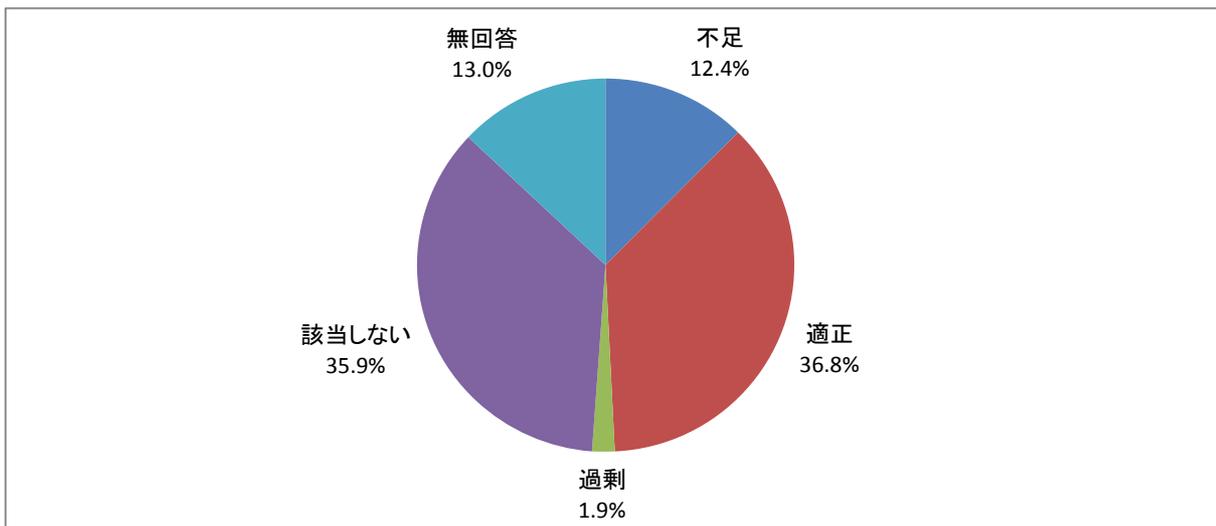
事業所正社員平均数	3.8人
事業所非正社員平均数	4.7人

問43 貴事業所の従業員(正社員、非正社員含む)のうち、宮代町内在住の方は何人ですか。(N=524)



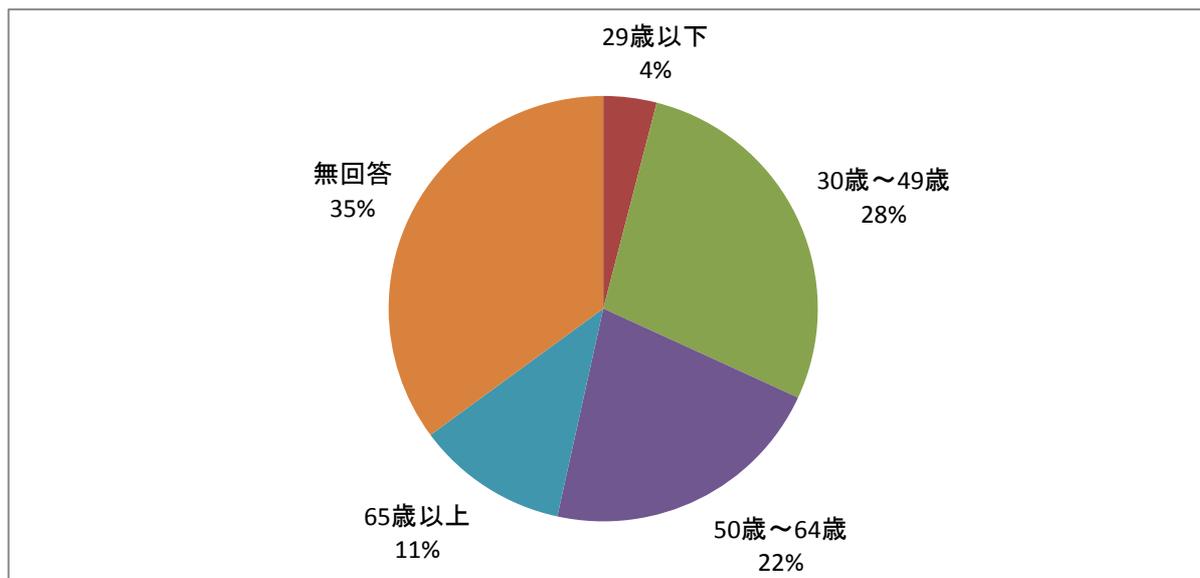
問44 貴事業所の「現在の従業員数の過不足感」について、記入してください。(N=524)

「該当しない」の回答率は、従業員数「0人」の回答率に近いように見えます。つまり「ひとりで仕事をしている」人の多くがこの項目と「無回答」に含まれると思われます。



問45 貴事業所の従業員(正社員、非正社員含む)の平均年齢は何歳ですか。(N=524)

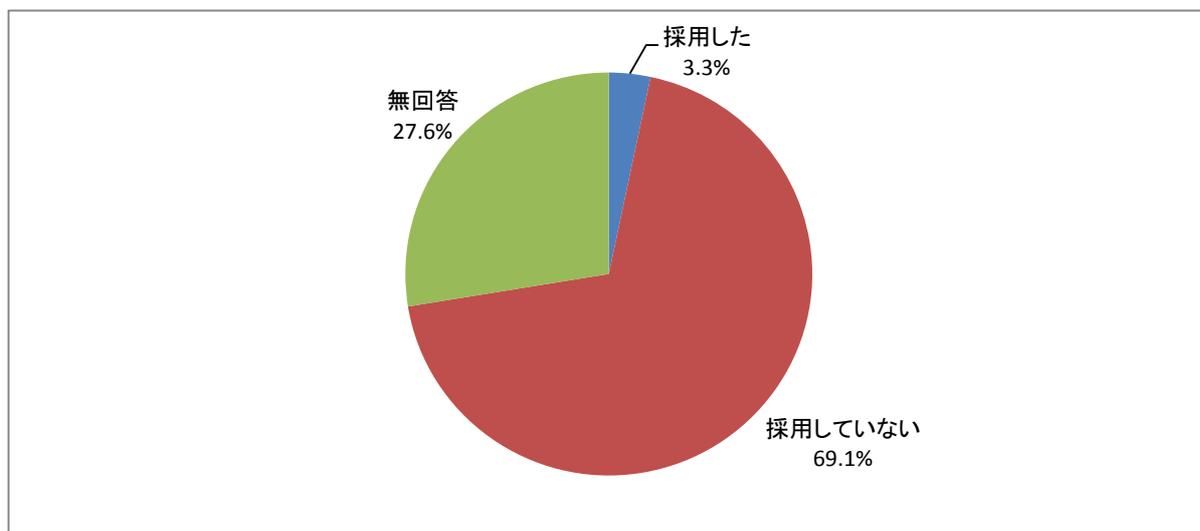
「無回答」の率は、従業員数「0人」の率に近い値です。「ひとりで仕事をしている」人は従業員の年齢に答えることはできないので、その多くが無回答となったと思われます。



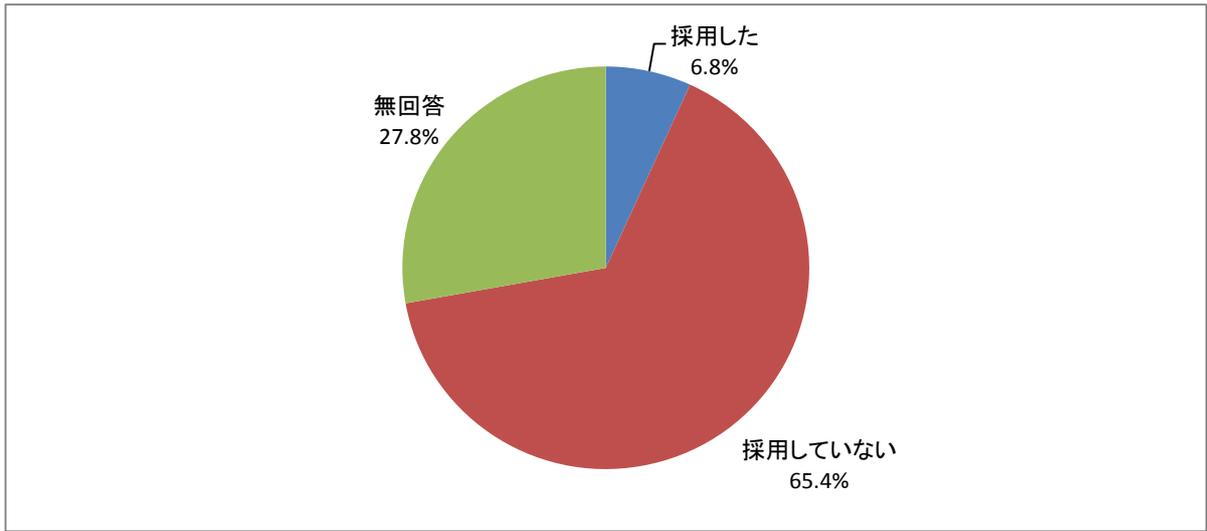
問46～49は、単独事業所または本社・本店の方(434事業所)のみへの設問

問46 貴事業所における平成25年(2013)年4月から現在までの正社員の採用状況について

①新規学卒者を採用しましたか。(N=434)



②新規学卒者以外を採用しましたか。(N=434)

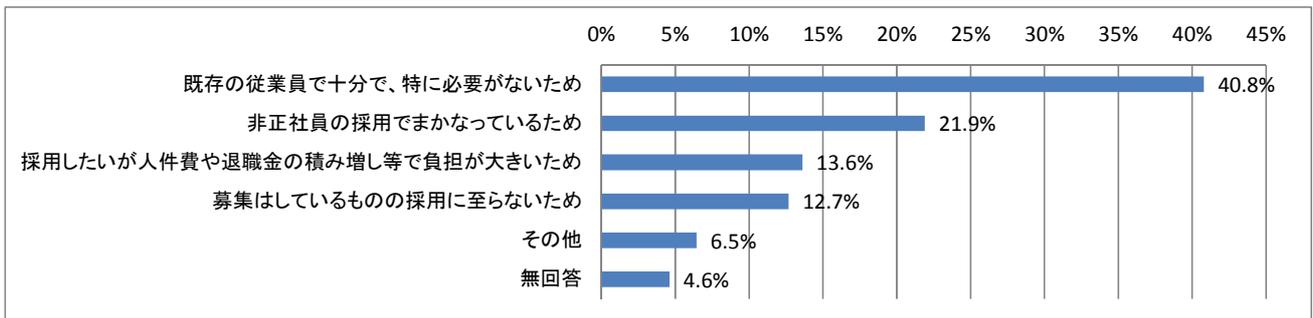


問47 採用していない理由は何ですか。(N=434)【複数回答】【複数回答】

問46の①②で「新規学卒者を採用していない」69.1%または「新規学卒者以外を採用していない」65.4%のいずれかに回答した方への設問です。

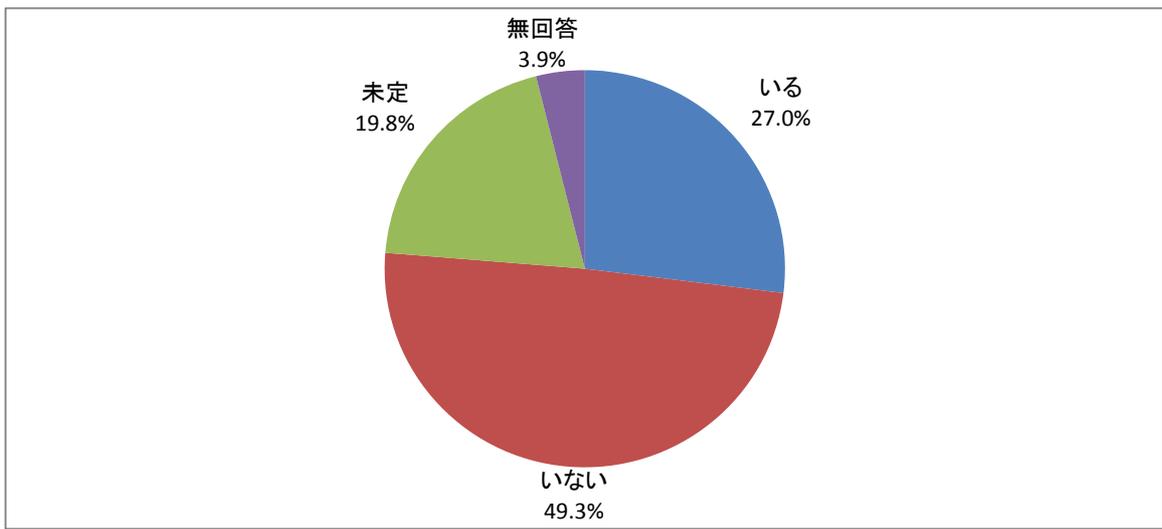
「その他」の内訳を見ると、「一人でやる、または家族とやる仕事なので必要ない」という回答が7割でした。

「採用したい」事業所も26.3%もあることは、注目すべきポイントと言えます。



問48 貴事業所には、後継者はいますか。(N=434)

後継者がはっきりしている事業所は約四分の1ほどです。後継者問題は今後の大きな課題となりそうです。

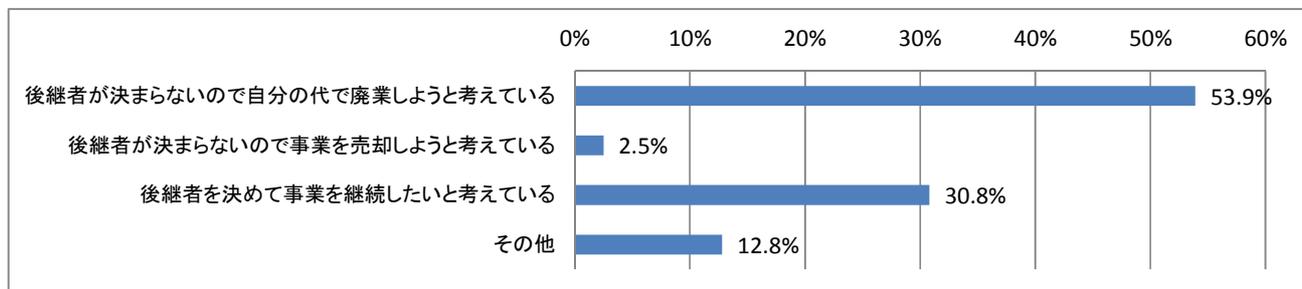


問49 今後の事業承継については、どのようにお考えですか。(N=321)

問48で「後継者がいない」と「後継者が未定」に答えた 69.1%(300 件)の方への設問で、321 事業所の回答がありました。最多回答の「廃業を考えている」の 53.9%は 173 件になります。

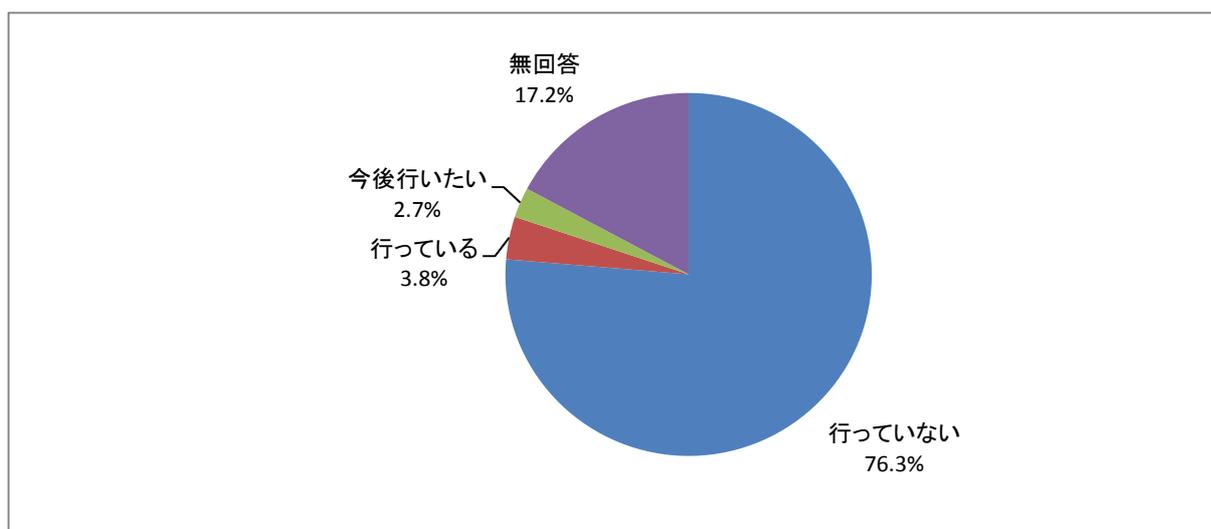
年代別内訳は、49 歳以下=7%、50 代=16%、60 代=35%、70 歳以上=27%、年齢不明=15%でした。

60 歳以上では 62%にのぼります。このままで行きますと、5年後10年後にはこの年代の事業主が経営する事業所の約 100 余りが宮代町から消えてしまうことになります。



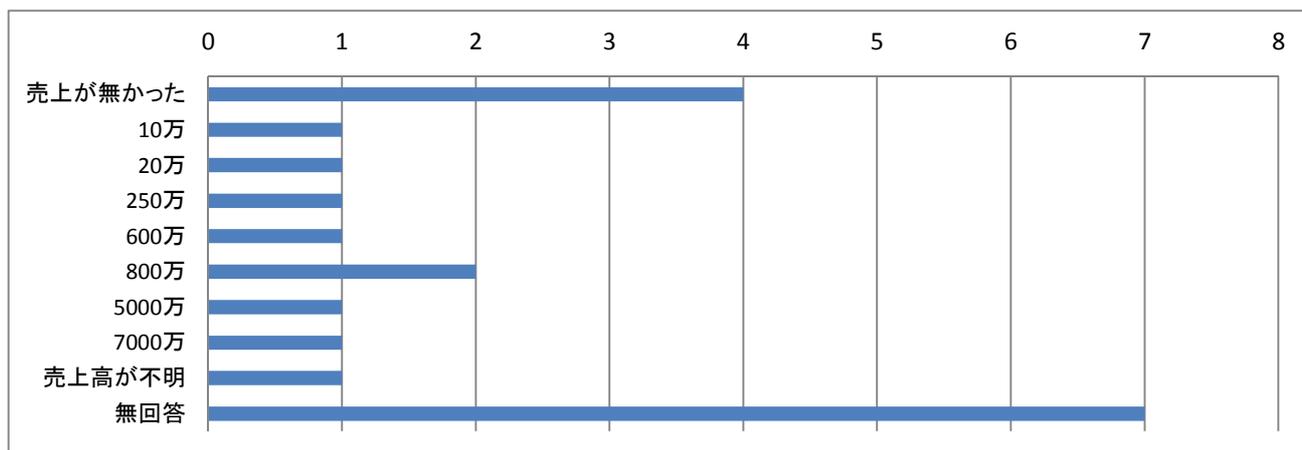
ここからは、すべての事業所の方からの回答に戻ります

問50 貴事業所では現在、インターネット販売を行っていますか。(N=524)



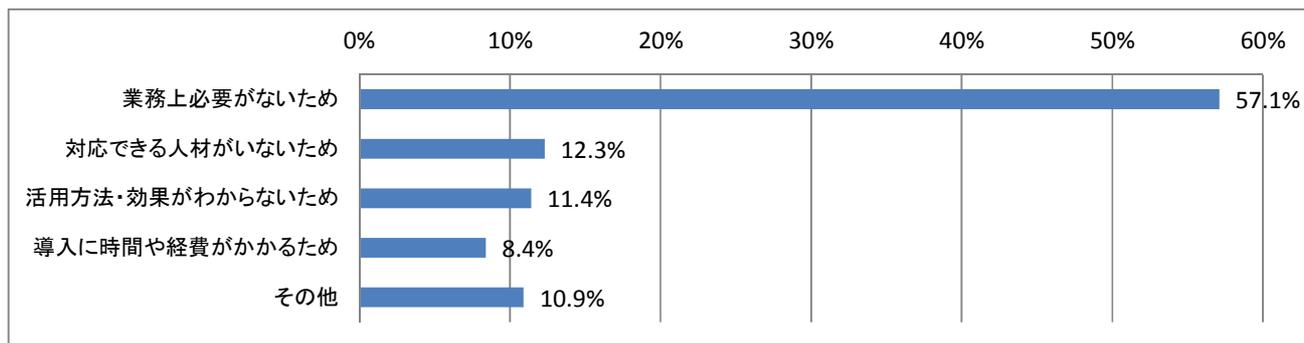
問51 インターネット販売による前年の売上高についてお答えください。(N=20)

問50で「インターネット販売を行っている」に答えた 3.8%(20 件)の方への設問です。回答数が少なかったため実数表示のグラフにしました。



問52 インターネット販売を行わない理由は何ですか。(N=431)【複数回答】

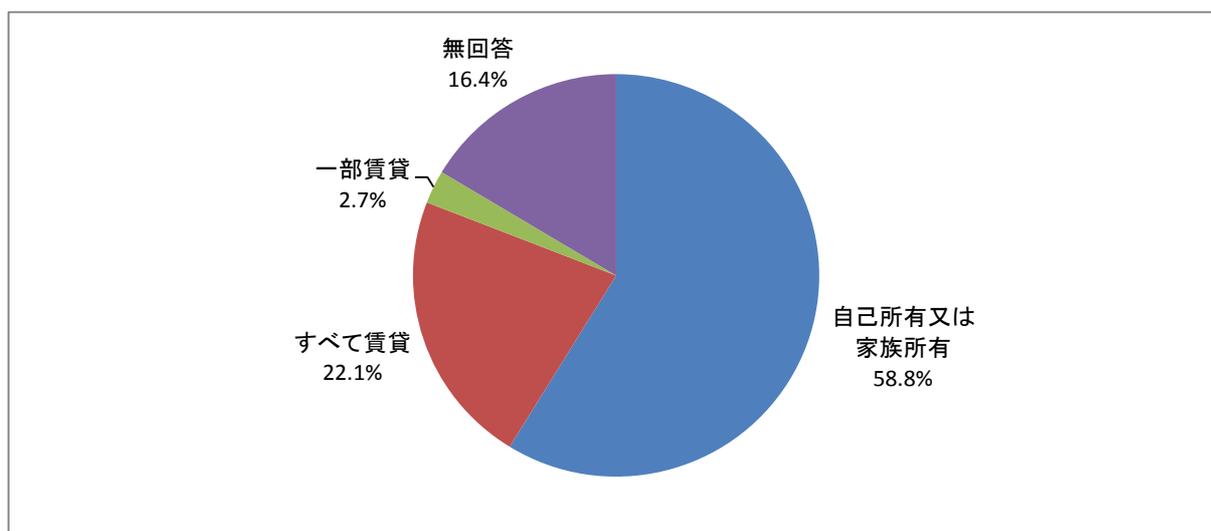
問50で「インターネット販売を行っていない」に答えた 76.3%(400 件)の方への設問です。



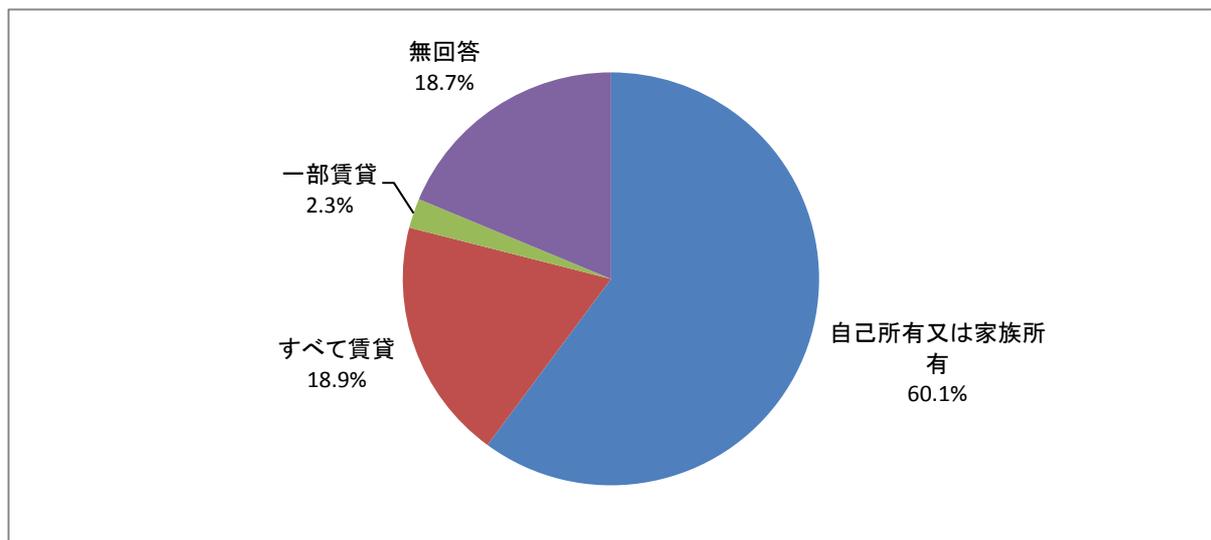
問53-1 貴事業所の土地についてお答えください。

都市と比較すると高い不動産自己所有率です。経費負担が少なく済む大きなメリット点です。

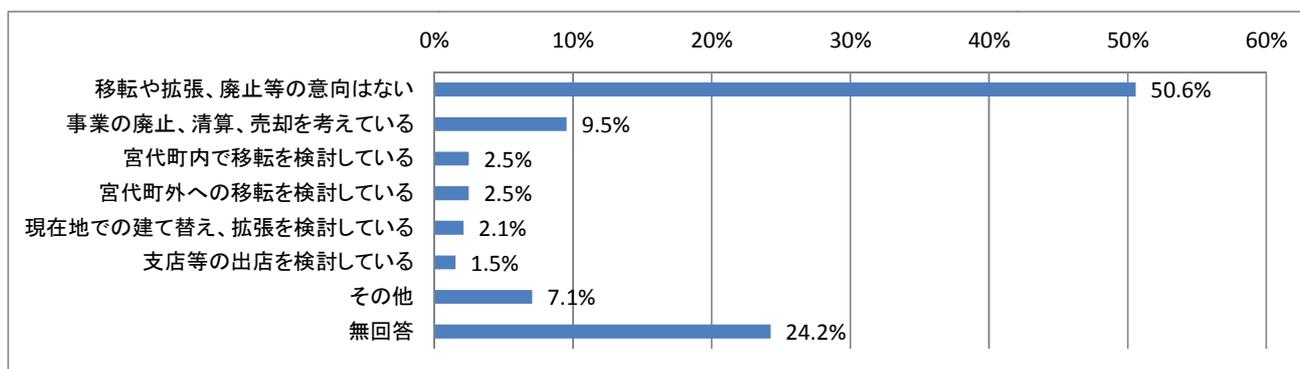
① 土地 (N=524)



② 建物 (N=524)



問54 貴事業所について、移転、廃止等の意向がありますか。(N=524)



問55 移転を検討している理由は何ですか。(N=34)【複数回答】

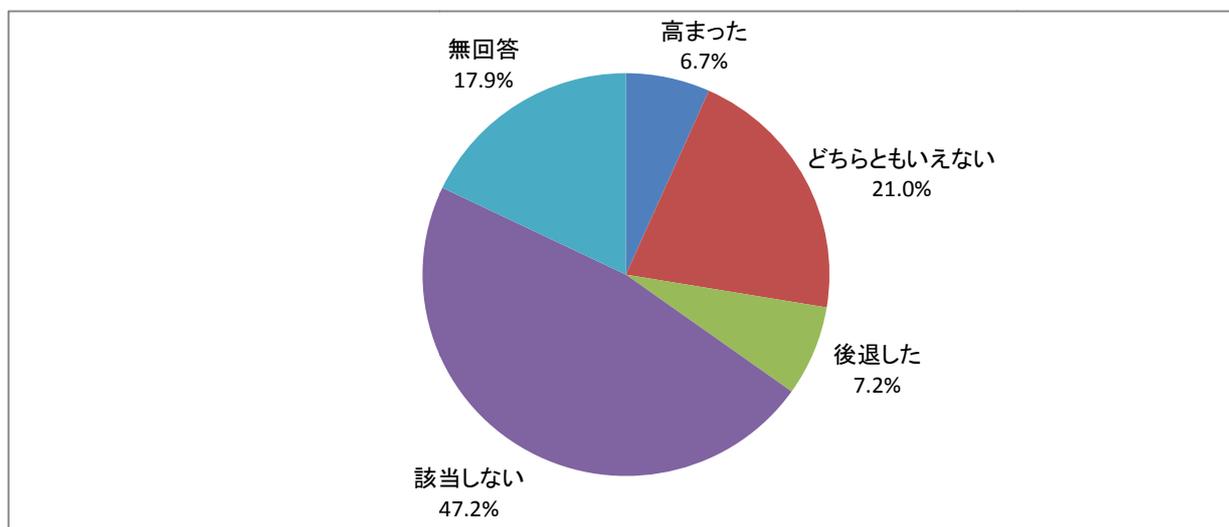
問54で「宮代町内・外で移転を検討している」に回答した 5%(26 件)の方への設問です。

「その他」の回答が 11 件で最多数であったため、以下のとおり表で記載しました。

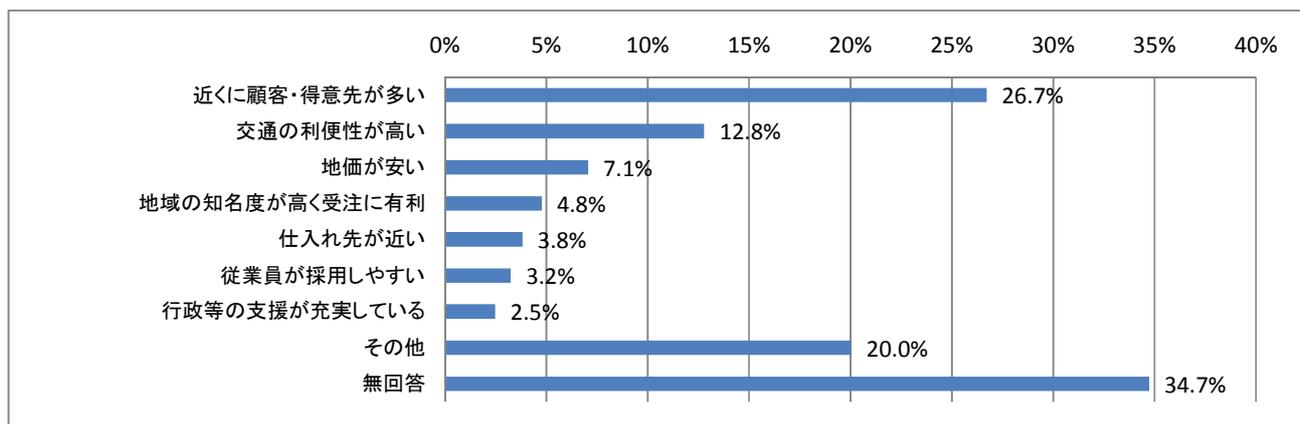
建物が老朽化したため	8
建物が手狭になったため	6
従業員が確保しにくい	4
得意先が移転したため	2
外注先が確保しにくい	2
近隣からの苦情が増えたため	2
その他	11
商業がまとまり栄えている場所に移ることを考えているため	1
宮代町は本店(自宅)、実際の事業地は春日部市内がメインとなっているため	1
今後の発展があまり期待できないため	1
消費者住民が少ない	1
宮代町公共事業の減少	1
より需要のある地	1
専用事務所を建てたい	1
家主との契約継続が難しいため	1
悪条件による賃貸の為	1
赤字	1
4月中ごろ移転する	1
無回答	6
合計	41

問56 「設備投資意欲」は前年(平成 25(2013)年 1 月)に比べて高まりましたか、後退しましたか。(N=498)

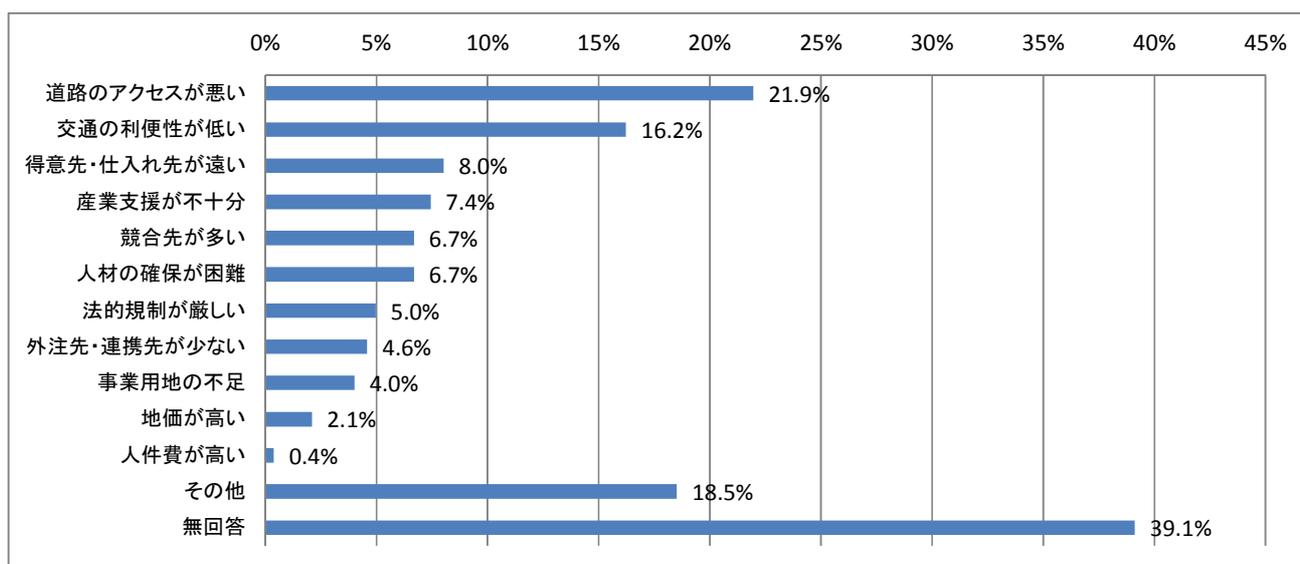
問54で「移転検討」以外に答えた方 95%(498 件)の方への設問です。



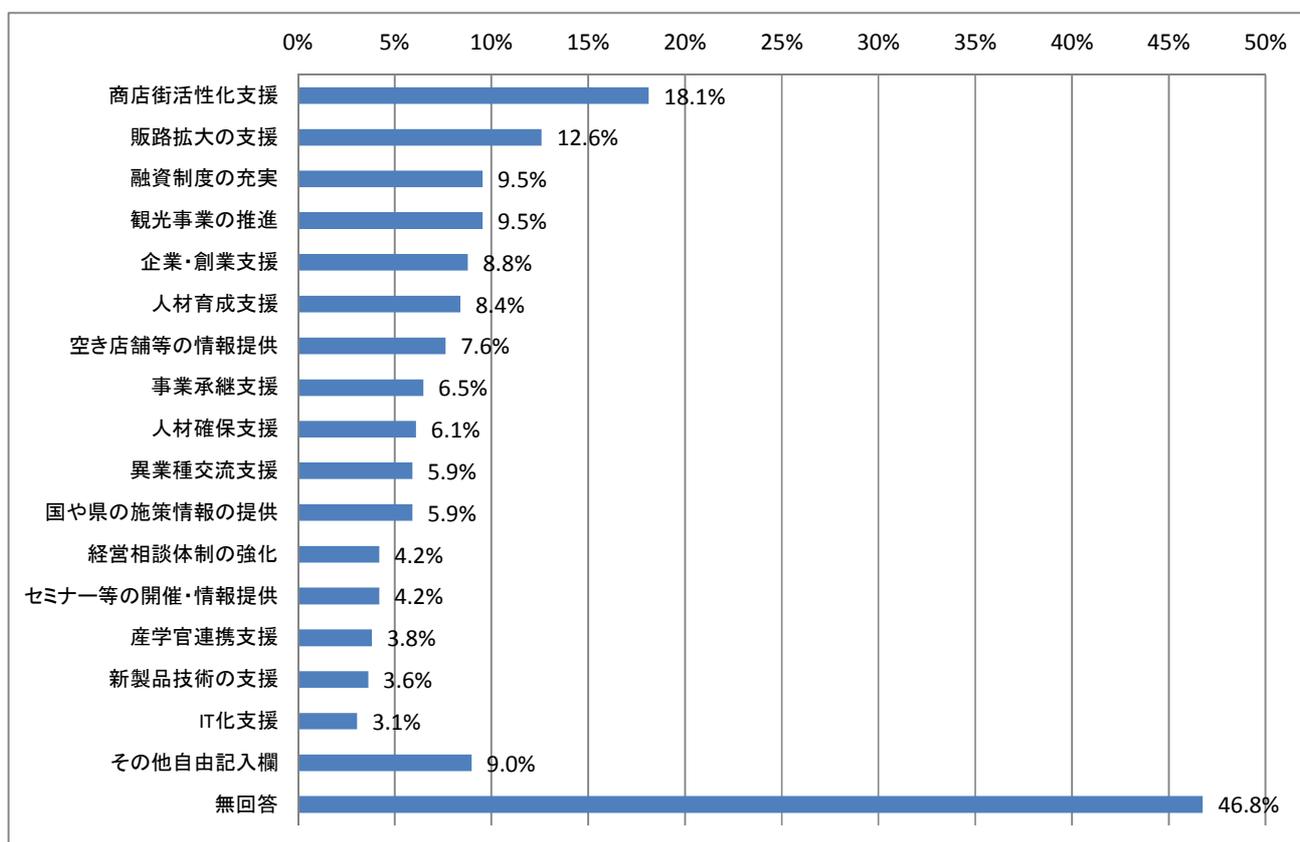
問57 宮代町で事業を行う上でのメリットは何がありますか。(N=524)【複数回答】



問58 宮代町で事業を行う上でのデメリットは何がありますか。(N=524)【複数回答】



問59 宮代町に今後期待する産業振興施策があれば、お答えください。(N=524)【複数回答】



問60 貴事業所が得意としていること、一番自信のあること、または自慢できることなどなんでも結構です。

ご自由にお書きください。(N=524)

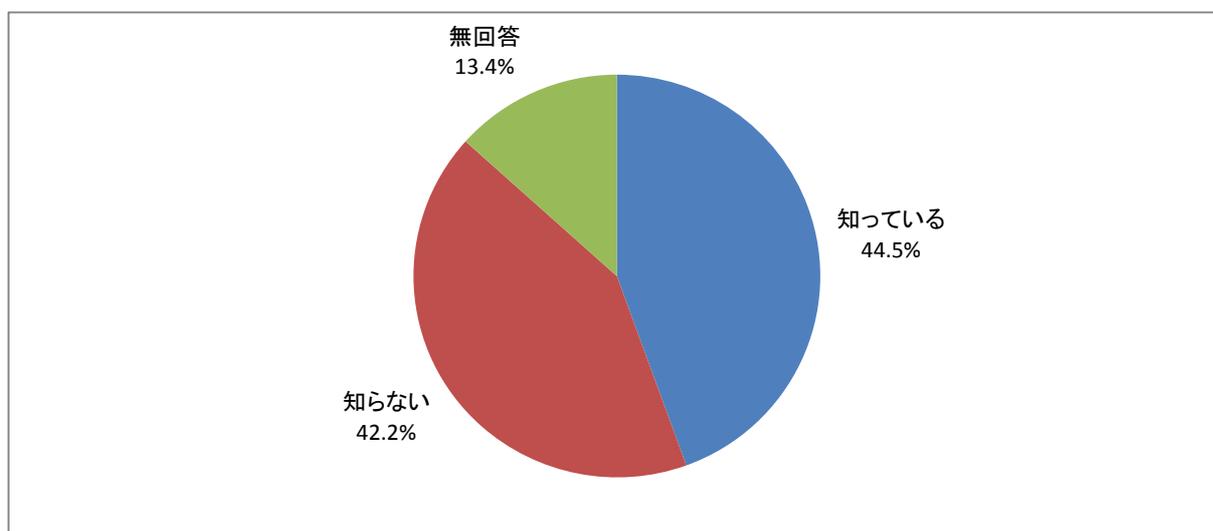
記述式の自由回答の問です。

118 名の方に回答を頂きました。詳細は別途集計報告いたします。

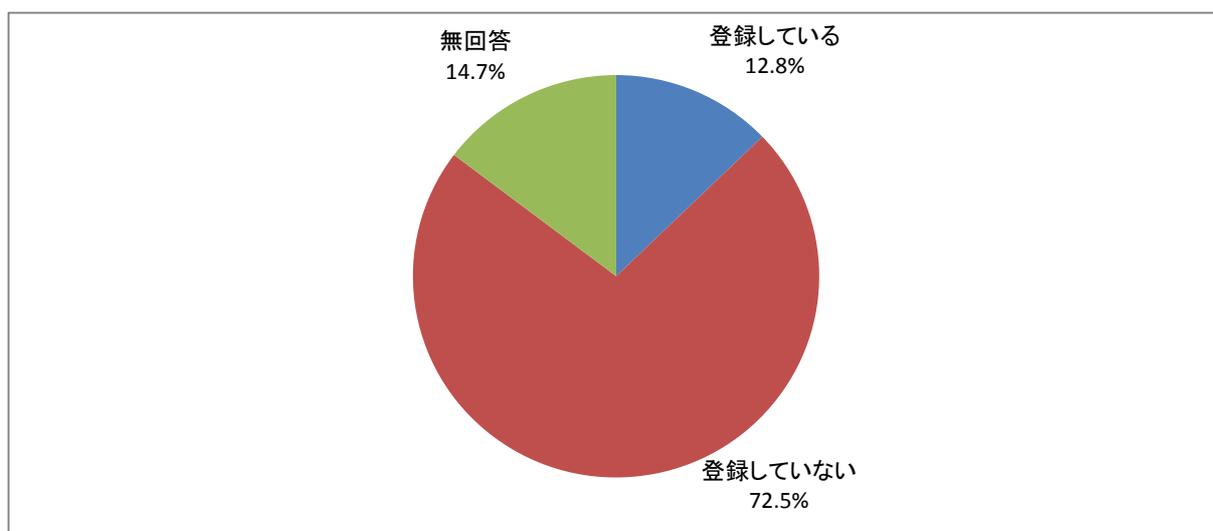
記入有り	118 人	22.5%
記入無し	406 人	77.5%
合計	524 人	100%

宮代町商工会が発行しているご当地商品券「ありがとう」について

問61 ご当地商品券「ありがとう」をご存知ですか。(N=524)

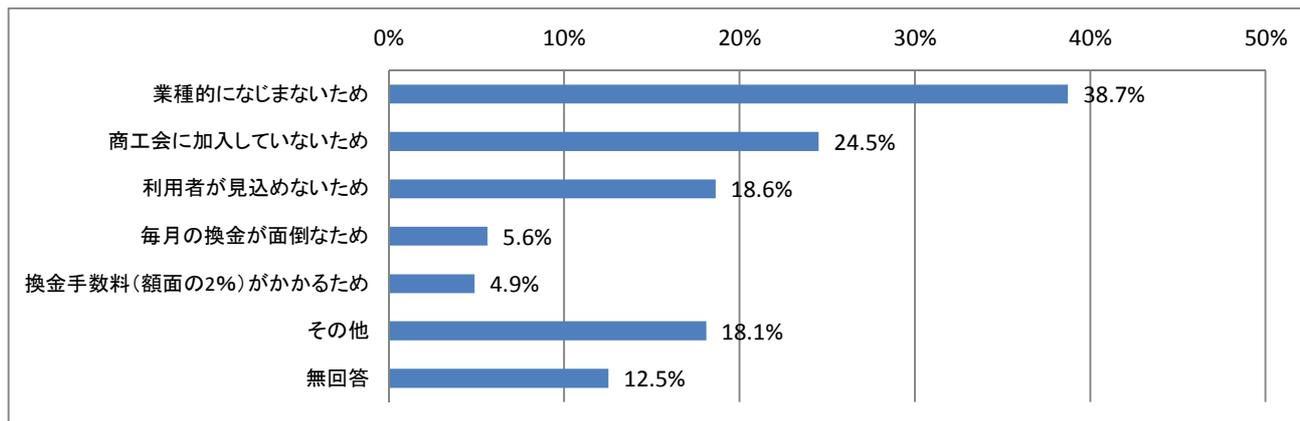


問62 商品券の取扱店として商工会に登録されていますか。(N=524)



問63 登録していない理由は何ですか。(N=408)【複数回答】

問62で「登録していない」と答えた 72.5% (380 件)の方への設問です。



問64 ご当地商品券「ありがとう」についてご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。(N=524)

記述式の自由回答の問です。

44 名の方に回答を頂きました。詳細は別途集計報告いたします。

記入有り	44 人	8.4%
記入無し	480 人	91.6%
合計	524 人	100%

問65 町内商工業の活性化についてご意見・ご要望をお聞かせください。(N=524)

記述式の自由回答の問です。

67 名の方に回答を頂きました。詳細は別途集計報告いたします。

記入有り	67 人	12.8%
記入無し	457 人	87.26%
合計	524 人	100%

以上